
機動戦士ガンダム
GUNDAM
逆襲のシャア

# MESSAGE

## あなたに感謝をこめて……原作・脚本・監督 富野 由悠季

あなたが、女性ならば、ひたすら男とはこんなものだと分って欲しいと思います。

あなたが、男性ならば、男はこれでいいんだから、頑張ろうよという思いをこめて、男の愚直さを描いてみたつもりです。

このように書くと性別を意識しすぎだと、非難される方がいらっしゃるのも承知していますが、これが正直な感想なのです。この感じ方がいけないのなら、性差を越えたものを見せて、勉強させて下さい。

今回のこの映画は、ぼく自身、初めての映画の仕事で、自分の未熟さをさらけ出したこと、スタッフ全体が若すぎて、全体の表現技術が稚拙になってしまったことで、見てくれと胸を張れないのは残念です。

プロのはずですから、こんなことを言ってはいけないのですが、心意気だけは、一流の映画に負けていないつもりです。シリーズ化した作品を作る苦しさからも逃げないで、未熟同士が集まって、ともかくも作って見せたという自負はあります。

若いスタッフのほとんどは、以前のガンダムで育って、今度の仕事に参加してくれた若者です。そして、今日、また、このように映画にすることができましたのは、このパンフレットを読んで下さっているあなたがいたからなのです。そうでなければ、この映画は製作されませんでした。

その意味では、この映画は、本当の意味でのイベントなのです。ですから、この映画の本当の意味は、皆様よりも、映画を企画し、製作する大人の方々に、一番分って欲しいことなのです。

ぼくとスタッフは、この若い皆様の気分に負けないように“映画”をやってみたつもりです。

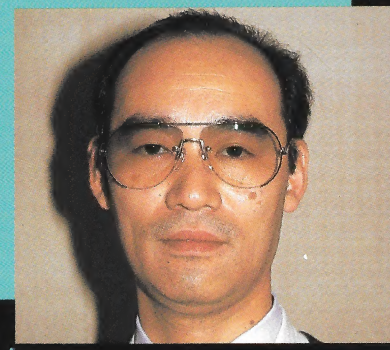
この種の作品は、敵と味方が単純に闘う図式にしなければなりません。しかし、ガンダムは、以前の映画三部作の後に、テレビで、シャアとアムロの友好関係が語られました。

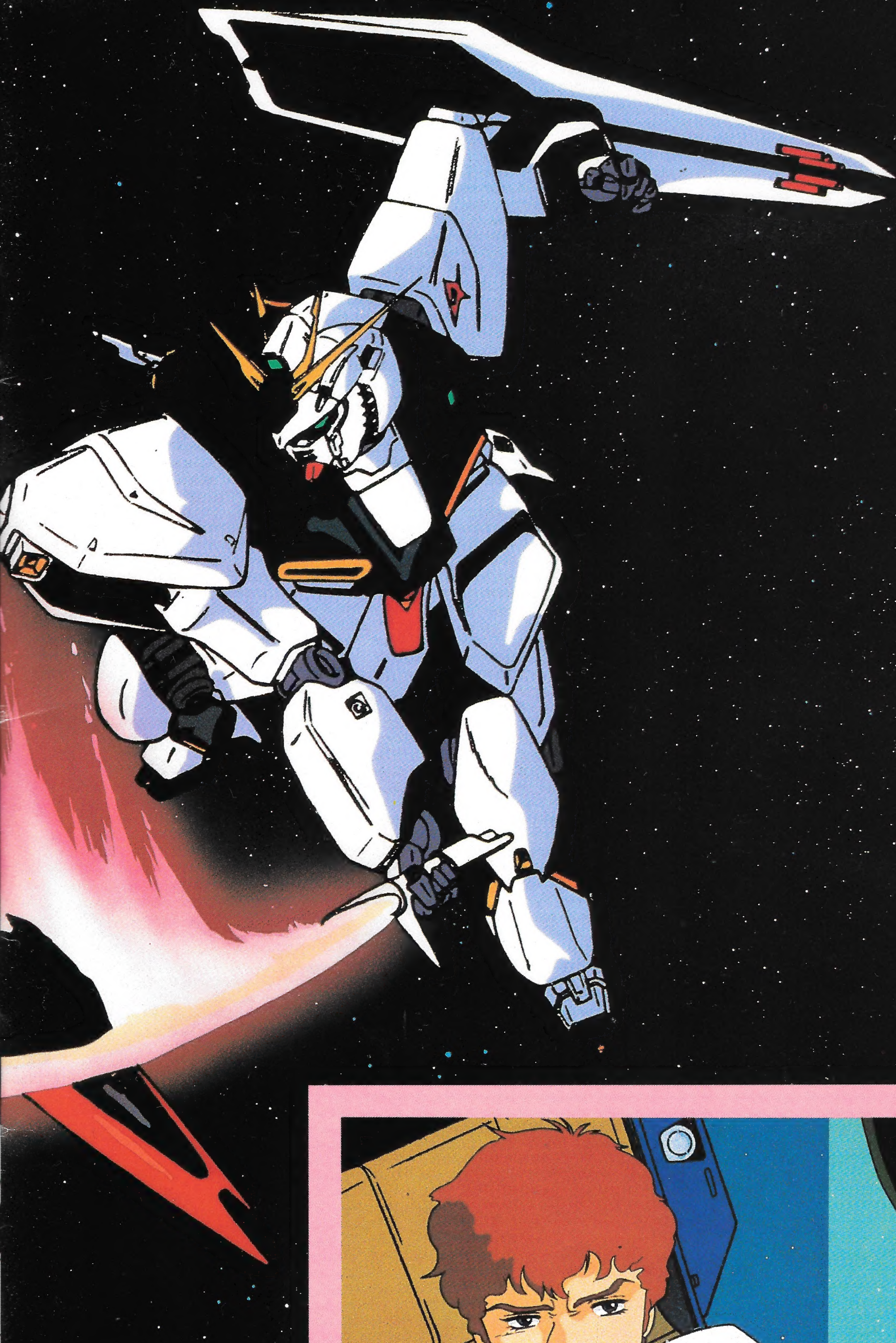
その上で、今回のストーリーを創作しなければならなかった点、殊に、シャアは、敵でありながら悪人ではない、というイメージを大切にしなければならないということは、作者にとって苛酷な条件でした。その結果が、今回のストーリーだったのです。

もちろん、誉めて欲しいというのが製作者すべての願いですが、ここまでしか出来なかったという我々の力も認めざるを得ません。

とはいえ、我々は、このようなチャンスを与えられたことに感謝し、やることはやってみたという思いはあります。今後も、機会があれば、恥じることなく、もっと映画をやってみたいと思っています。いけませんか？







# PROFILE

1941年11月5日、神奈川県小田原市生まれ。

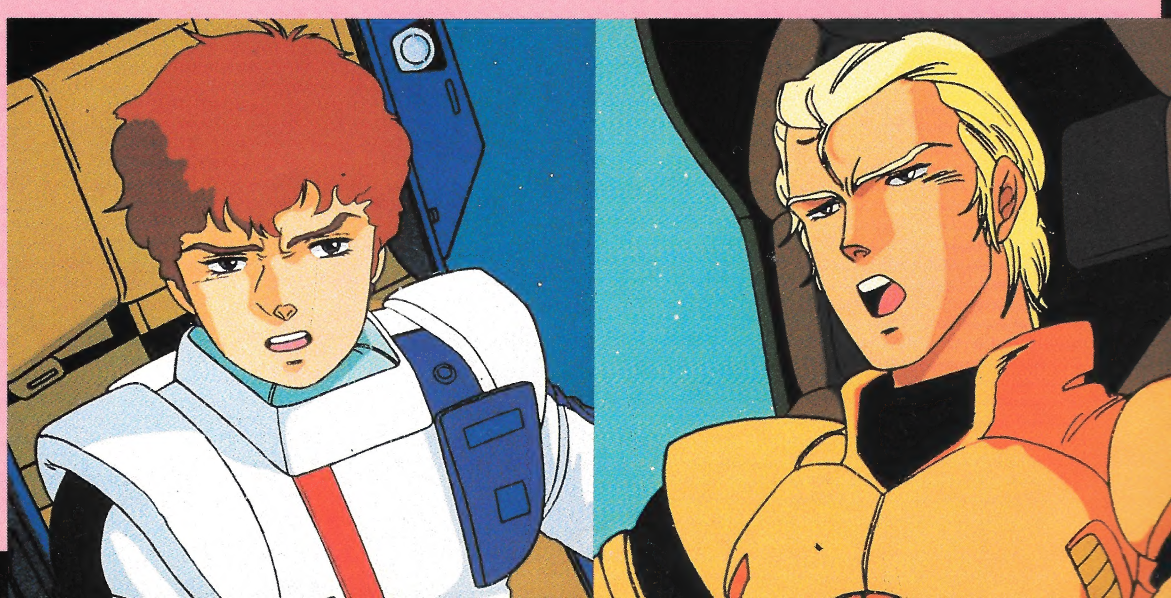
日本大学芸術学部卒業後、虫プロダクションに入社しＴＶアニメ「鉄腕アトム」などの演出を担当する。その後、ＣＭ製作プロダクションを経てフリーの演出家となる。その間、絵コンテマンとして「ムーミン」「巨人の星」「ど根性ガエル」などその当時放映されていたほとんどのアニメ作品を手掛ける。

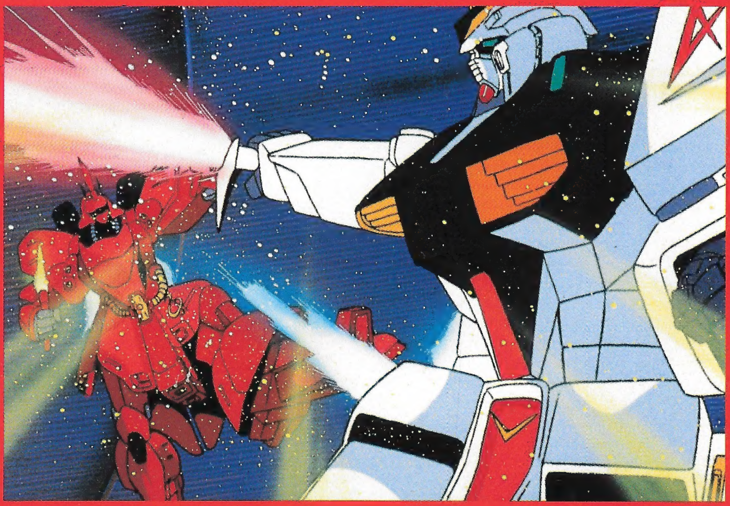
シリーズ番組初の総監督として「夕やけ番長」を手掛けたのち、フリーとなって3年目で「海のトリトン」の総監督を担当。

以後、ロボット・アニメに革新をもたらした「機動戦士ガンダム」を世に送り出し、アニメ界に衝撃を与え、〝ガンダム・フィーバー〟なる社会現象を引き起こす。

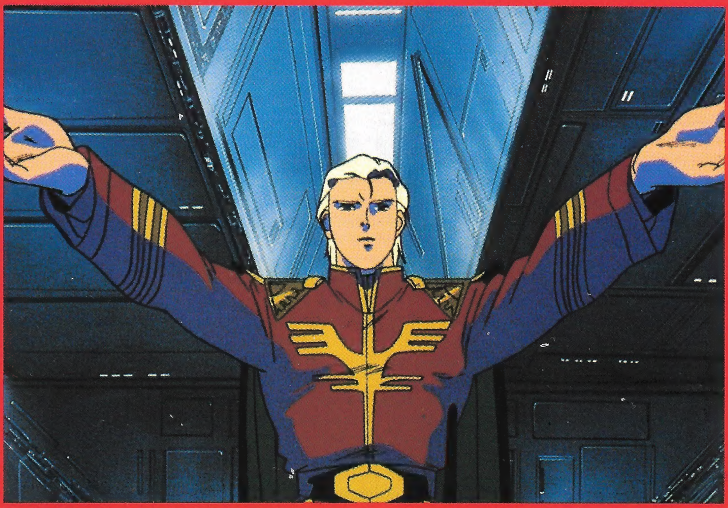
代表作として「無敵超人ザンボット3」「無敵鋼人ダイターン3」「機動戦士ガンダム」「戦闘メカザブングル」「聖戦士ダンバイン」等（以上T.Vアニメーション監督）。『機動戦士ガンダム』『機動戦士ガンダムII哀戦士』『機動戦士ガンダムIIIめぐりあい宇宙』『伝説巨神イデオン／接触編、発動編』『ザブングルグラフィティ』等（以上劇場用映画監督）がある。

また作家としても「リーンの翼」「ファウファウ物語」「オーラバトラー戦記」「ガイア・ギア」（以上小説）、自叙伝「だから僕は」等多数の著作がある。





# INTRODUCTION



'79年のテレビシリーズ開始以来、「機動戦士ガンダム」は各世代の若者の心をとらえ、夢を与え続け、ついに企画開始から10周年を迎えた。

その間に、「機動戦士ガンダム」「機動戦士Ζガンダム」「機動戦士ガンダムΖΖ」という各テレビシリーズが製作され、3本の劇場用映画('80年〜'81年)は、総観客動員数800万人という"ガンダムフィーバー"を巻き起こし、社会現象にまで発展。空前のアニメブームの中核をなしたスーパー・アニメーションである。

そして、'88年春、その神話はよみがえった！

今までの"ガンダム"の魅力の総てを結集し、素晴らしい感動と興奮で日本中を揺るがす"ガンダム"初の劇場用オリジナル最新作が、この『機動戦士ガンダム―逆襲のシャア―』だ。

ネオ・ジオンを再興したシャア・アズナブルは、人類が宇宙に進出した今も地球偏重の政策をとり続ける地球政府と地球人類を粛正するため"隕石落とし"を敢行しようとしていた。もし、それが実行されれば地球は恐怖の大氷河期を迎え人が住めない死の星となってしまう。

シャアの野望を阻止するため、新たに開発したν(ニュー)ガンダムでアムロは最後の戦いを挑む！

大宇宙に展開される迫力のモビルスーツ戦、新趣向を盛り込んだ魅力のモビルスーツ、メカ、新しいキャラクターなどに加え、宿命の男達の熱い闘いが展開される。

この作品では"ガンダム・サーガ(英雄譚)"を支えてきたこの二人の宿敵、アムロ・レイとシャア・アズナブルのショッキングな結末が描かれる。

特にそのラストは宿命の戦いに一大ピリオドを打つにふさわしく、地球を背景にめくるめくオーロラの光芒が、観る者の心を射る壮大なスペクタルをはらみ、激しくも美しい、そして壮絶なエンディングとなった。

これは、観る者の胸を揺さぶり、大スクリーン上に繰り広げられるかつてない一大イベントである…!!

さらに、この"ガンダム・サーガ"に広がりと奥行きを与え、精彩を放つメカ"モビルスーツ(MS)"も忘れる事は出来ない。初代ガンダム、ガンダムMK−II、Ζガンダム、ΖΖガンダムという変遷を経て、今、衝撃の《ν(ニュー)ガンダム》が登場。究極のMSに更に近づいて行く。そして、それに対抗して登場する様々なデザインをほどこされた敵MS群。シャアの乗る赤いMS、サザビーを始め、ヤクト・ドーガ、ギラ・ドーガなど、バラエティに富んでいる。それらの魅力的なメカが、10年という区切りの中で華々しく登場する。

原作、脚本、監督は"ガンダム・サーガ"を支えてきた、まさに産みの親ともいうべき富野由悠季。スタッフに北爪宏幸(キャラクター・デザイン)、大森英敏(作画監督)、池田繁美(美術監督)、出渕裕(MSデザイン)など、"ガンダム"を見て育った若手実力派のメンバーが参加し、斬新な映像を作りあげた。

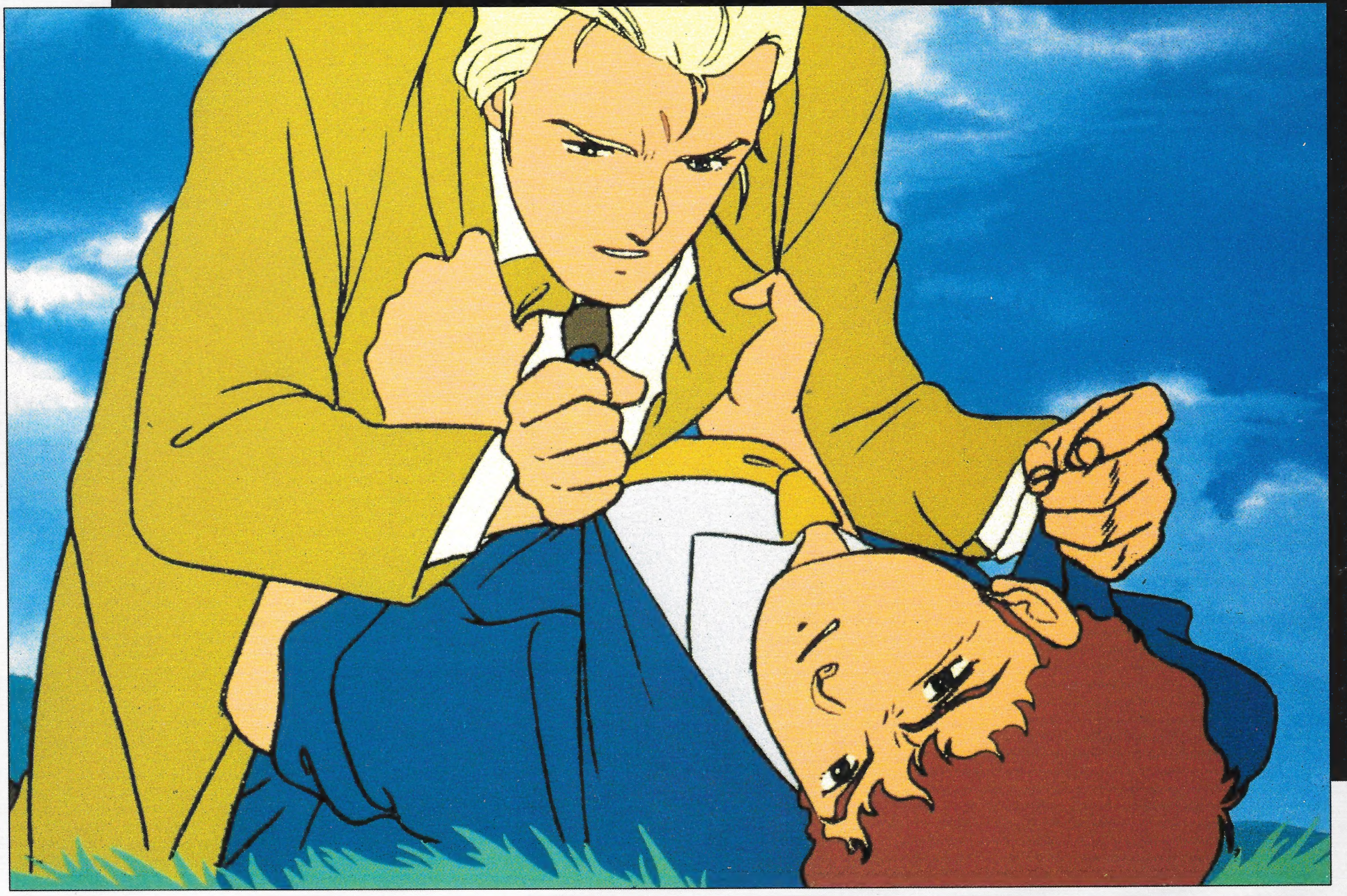
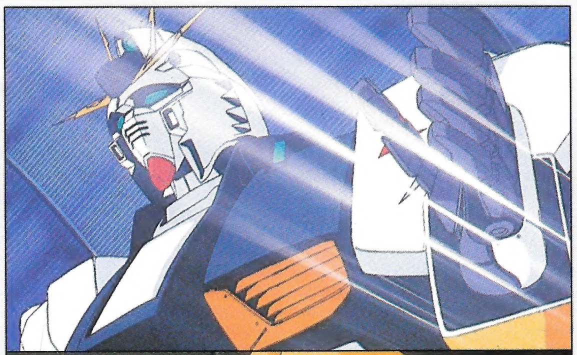
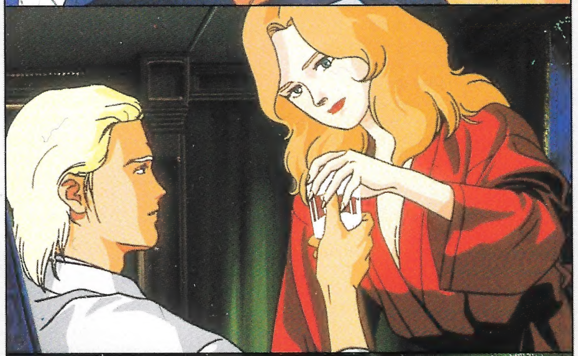
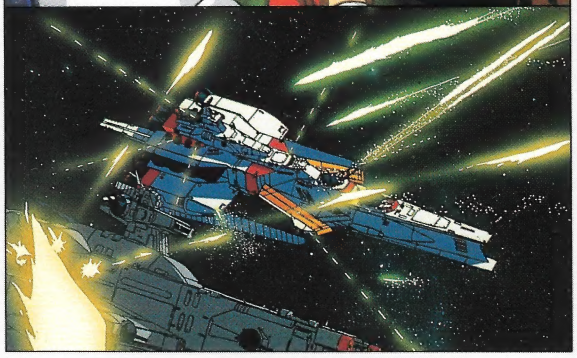
大宇宙を彩る"ガンダム"の音楽を、人気作曲家、三枝成章が担当。そして、主題歌を今ヤングに圧倒的人気を誇るグループ〈TMネットワーク〉が歌うのも楽しみのひとつだ。

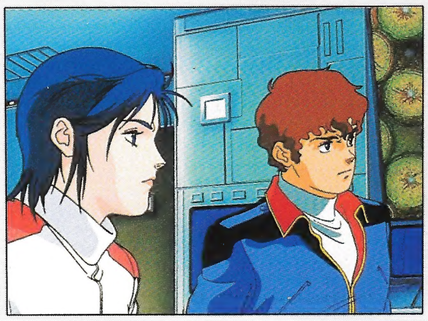
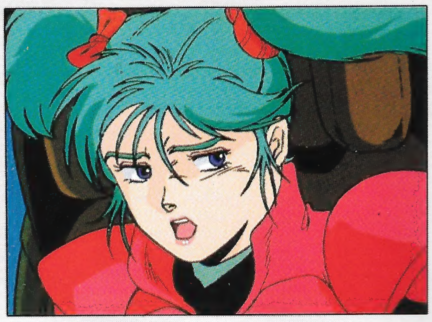
声優は、主役の古谷徹〈アムロ〉、池田秀一〈シャア〉を始めとして、鈴置洋孝〈ブライト〉、白石冬美〈ミライ〉、藩恵子〈ララア〉という前作でおなじみのメンバーに加え、「ΖΖ」でベルトーチカ・イルマ役を演じた川村万梨阿〈クェス〉、「オネアミスの翼」でデビューした弥生みつき〈チェーン〉、「メガゾーン23」の山寺宏一〈ギュネイ〉、新鋭の佐々木望〈ハサウェイ〉、そしてガンダムの「Ζ」「ΖΖ」のハマーン役の榊原良子〈ナナイ〉という新鋭キャストで"ガンダム"新世代を築いている。

初の劇場用オリジナル作品として作られるこの『機動戦士ガンダム―逆襲のシャア―』は壮大なスケールと巨大な興奮を秘めたアニメーションの一大映像イベントである。

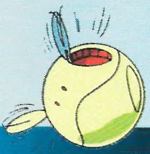
キミはまだ本当の"ガンダム"を知らない！

(1988年／ドルビーステレオ)

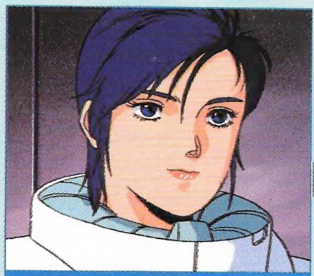



# MAIN CHA
# RELA



宿

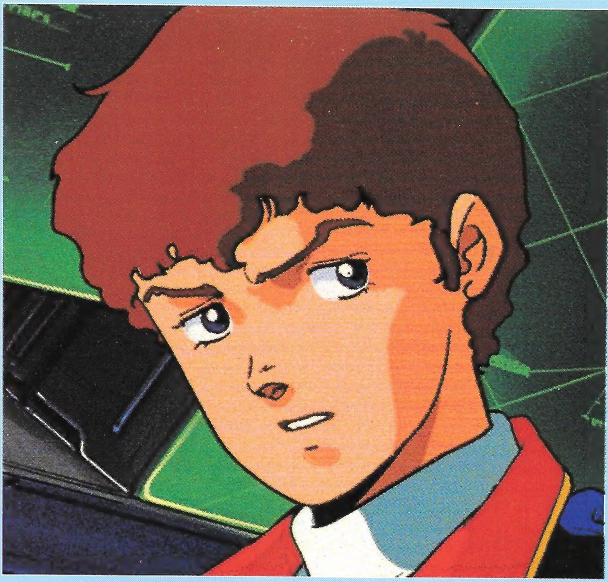
## 地球連邦軍



### チェーン・アギ
CHAN AGI

連邦軍の技術士官で、メカニックマンも務める。階級は准尉。ν(ニュー)ガンダムの開発プロジェクトで、主導的な立場にある。
νガンダムのパイロットであるアムロ・レイに惹かれる。

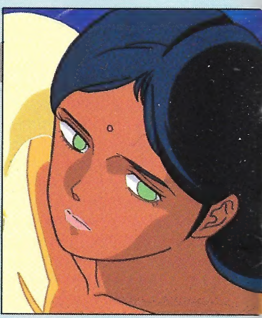
恋人



### アムロ・レイ AMURO RAY

1年戦争当時、ニュータイプに目覚め"ガンダム"(RX-78)に乗りジオン軍と戦う。
現在、地球連邦軍の大尉としてブライト・ノア率いるロンド・ベル隊の旗艦、ラー・カイラムに乗り込むパイロット。ネオ・ジオンの総帥を名乗り、地球に対して攻撃を仕掛けてきたシャアと戦うため《ν(ニュー)ガンダム》に乗り、最後の戦いを挑む。

共感



友人

- **メラン** ラー・カイラム副艦長
- **トゥース** ラー・カイラム操艦士

昔の許婚者



### カムラン・ブルーム

地球連邦政府会計監査局の代表としてアデナウアーとシャアの和平交渉に立会う。がその裏に隠された真実を知りブライトに告げる。
かつて、幼なじみのミライ・ヤシマの許婚者であった。

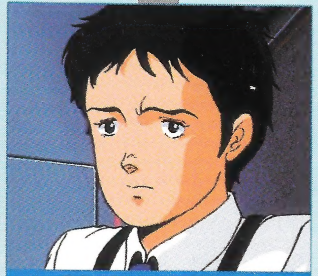


### ミライ・ノア
MIRAI NOA

旧姓ミライ・ヤシマ。一年戦争時にホワイトベースの操艦手として乗りこみ、クルーの母親的存在として支えとなっていた。現在、ブライト・ノア夫人となり、ハサウェイ、チェーミンの母親。
シャアの隕石落としに際し、脱出を試みるがチェーミンと共に地球に残る。

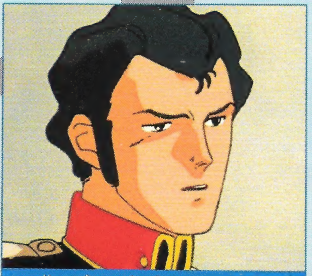
親子

親子



### ハサウェイ・ノア
HASSAWAY NOA

ラー・カイラムの艦長ブライト・ノアの息子。サイド1のスペース・コロニー《ロンデニオン》に向かう途中のシャトルで、クェスと出会いひかれる。ナイーブではあるが、したたかな面もあり、大人が子供をどう見ているか心得ている少年。



### ブライト・ノア
BRIGHT NOA

1年戦争当時、アムロと共に戦い、「ガンダム」のホワイト・ベース、「Zガンダム」のアーガマ、「ガンダムZZ」のネェル・アーガマと、常に"ガンダム"を搭載する戦艦に艦長として乗り込む。アムロの良き上司、そして友人として、現在はロンド・ベル隊の旗艦ラー・カイラムの艦長を務める連邦軍大佐。

恋



ハサウェイの2歳年下の妹。母ミライと共に地球に残り、父ブライトと兄ハサウェイの安否を気遣う。

### チェーミン・ノア
CHUMIN NOA

部下

- **オクトバー**

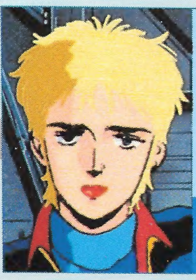
月、フォン・ブラウン市にある軍需複合企業アナハイム・エレクトロニクスの技術者で、νガンダムの開発責任者。



ラーカイラムのチーフメカニックマン。乗組員の全幅の信頼を得ている。ケーラ・スゥの恋人(「Zガンダム」よりのキャラクター)

### アストナージ・メドッソ

恋人



地球連邦軍MSパイロット。階級は中尉でジェガン部隊長。アクシズを止めるため、リ・ガズィで出撃するが、ギュネイのヤクト・ドーガの攻撃を受け捕獲され、アムロの目前で非業の死をとげる。

### ケーラ・スゥ
KAYRA SU

# ネオ・ジオン軍

敵



## シャア・アズナブル CHAR AZNABLE

スペースノイドのための世界を説いたジオン・ズム・ダイクンの息子で、本名はキャスバル・レム・ダイクン。1年戦争当時、〝赤い彗星〟と呼ばれ、地球連邦軍から恐れられた。アムロ・レイの運命的ライバル。ネオ・ジオンを再興し総帥となり、地球を汚染し続ける人々を粛正するため再び地球に戦いを挑む。

愛

## ララァ・スン LARAR SOWN

当時ジオン軍大佐だったシャアにひろわれ、ニュータイプ研究組織フラナガン機関でニュータイプとして覚醒。1年戦争時、アムロと戦い宇宙に散る。ニュータイプとしてのアムロに共鳴し、意識はアムロの中に残る。

●カイザス・M・バイヤー

ネオ・ジオン政治関係参謀。シャアと共に地球連邦との和平交渉に参加。

●ホルスト・ハーネス

シャアの参謀でジオン再興を願う。

●ライル

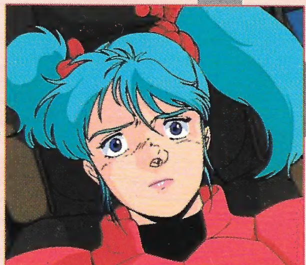
レウルーラ艦長。中佐。

憧景

部下（愛人）

心

嫉妬



## クェス・パラヤ QUESS PARAYA

地球連邦軍の参謀次官アデナウアー・パラヤの娘でニュータイプの少女。感情の起伏が激しく、利己的な面もあり周囲の状況を考える能力に欠けるが、相手の心情をくむ能力は非常に敏感である。

その過敏さゆえ、地球を脅かすシャアの真意を感じ、シャアのもとで行動することになる。

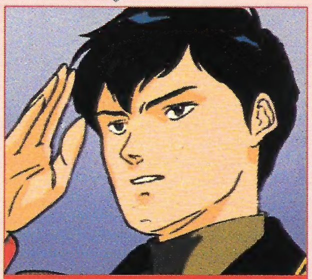


## ナナイ・ミゲル NANAI MINGERU

ネオ・ジオンの戦術士官で大尉。ニュータイプ研究所の長も務める。シャアと個人的にも親しく、思いを寄せている。

シャアが連れてきたクェスを任され強化するが、彼女に対して多少の嫉妬を抱く。

部下



## ギュネイ・ガス GYUNEI GUSS

ネオ・ジオンの戦艦レウルーラに乗り組んでいるMSヤクト・ドーガのパイロット。人工的なニュー・タイプである強化人間。クェスの才能がシャアに利用されているのを快く思わず、シャアのもとから引き離そうとしている。ひそかにクェスに恋心を寄せる。

恋心

親子

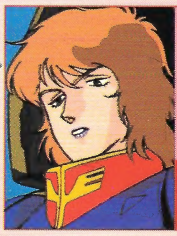
反感

部下



## アデナウアー・パラヤ

地球連邦政府参謀次官。連邦政府の密命を受け、ロンデニオンでシャアとの和平交渉を行なう。しかし、武装解除に向かう途中、ネオ・ジオン軍の攻撃を受け、シャアの元に走った娘クェスに殺されてしまう。



## レズン・シュナイダー REZIN SCHNYDER

レウルーラに乗り込むMSギラ・ドーガ隊小隊長。男まさりの活躍をする一方、ニュータイプのギュネイ、クェスに対抗意識を燃やし、戦いに挑む。

# STORY DIGEST

## 愚かな者に地球を汚染し、破



U.C.（ユニバース・センチュリー＝宇宙世紀）0093。

前の戦闘で行方不明となっていたシャア・アズナブルは、ついに、ネオ・ジオン軍を再興し、自ら総帥となり人類が宇宙に安住の地を確立した現在も、地球偏重の政策をとり続ける地球連邦政府、ならびに安穏と生活し、母なる星を汚染し続ける地球人類を粛正するために戦いを挑んでいた。

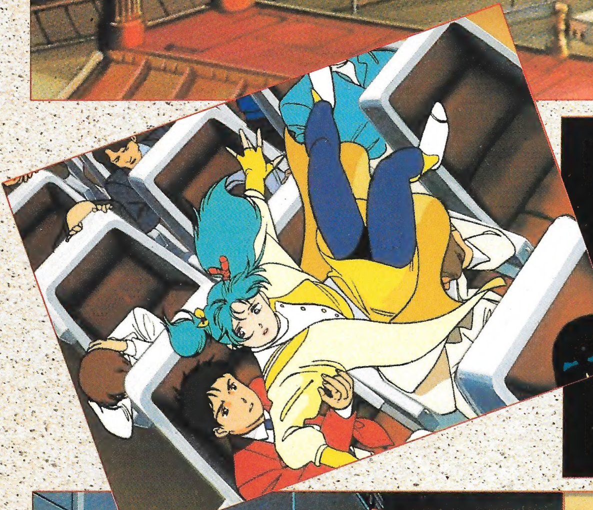
対する地球連邦は、ブライト・ノア率いるロンド・ベル隊で応戦していた。そこにはかつてシャアと死闘を演じ、また、共に戦ったこともあるガンダムのパイロット、アムロ・レイの姿もあった。だが、敵の高性能MS（モビル・スーツ）の前に、連邦軍の中でも孤立無援のロンド・ベル隊は苦戦を強いられていた。シャアの脅威を感じたアムロは、月面にあるアナハイム・エレクトロニクス社に発注してあった新技術のサイコミュ受信パック内蔵の《ν（ニュー）ガンダム》を引き取りに向かった。

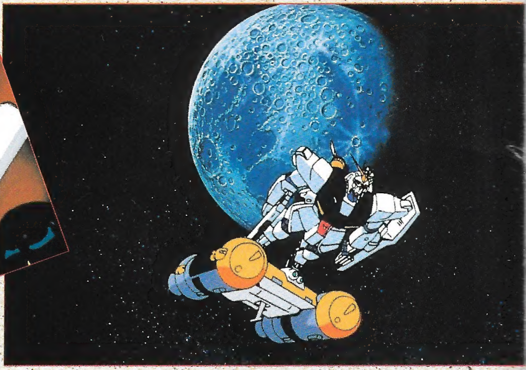
一方、地球連邦政府高官アデナウアー・パラヤは、戦争を終結すべく愛娘のクェスと共にシャトル《天鹿》に乗り込んだ。そこでクェスはブライトの息子ハサウェイ・ノアと出会った。ハサウェイはクェスの不思議な魅力に次第にひかれていくのだった。

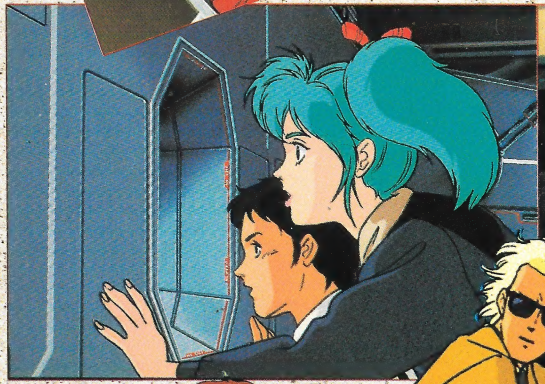
サイド1のコロニー《ロンデニオン》で、アデナウアーは秘密裏にシャアとの和平交渉に入った。交渉は連邦側が《小惑星アクシズ》を莫大な金塊と引き換えにネオ・ジオン軍に渡し、ネオ・ジオン軍はその後投降することで決着を見せた。しかしシャアの真意は和平ではなく、《アクシズ》を地上に落とすという恐るべき“隕石落とし”の計画にあった。しかも《アクシズ》には大量の核兵器が残されていた。もし、“隕石落とし”が敢行されれば、“核の冬”を迎えた地球は極寒の死の惑星と化すことになる。

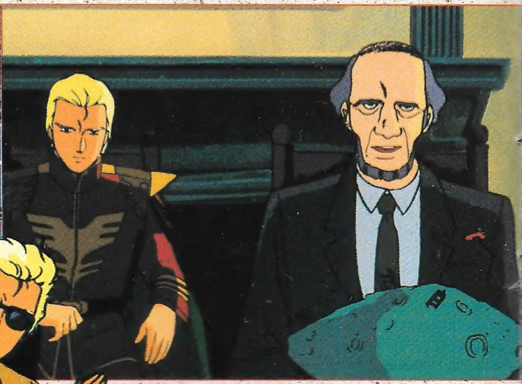
和平交渉に同席した連邦会計監査局のカムラン・ブルームは、この交渉の裏に隠された恐ろしい計画の真意を知り、かつての婚約者ミライの夫であるブライトの元へと向かった。

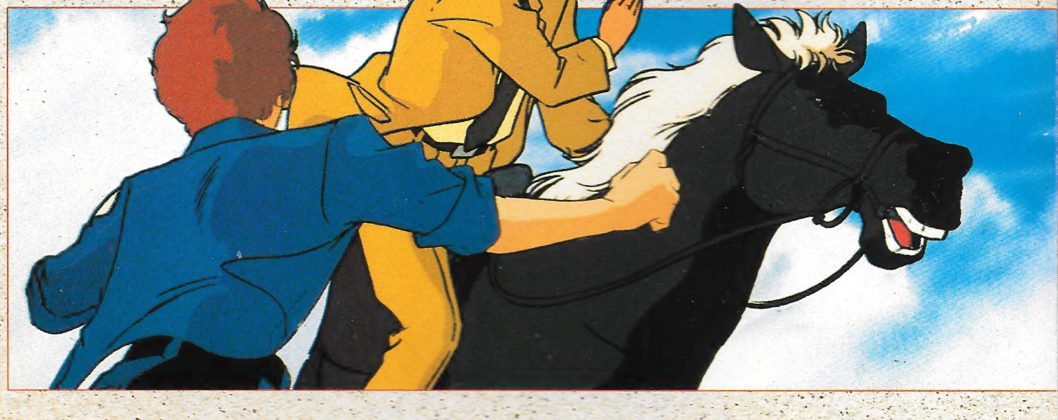
そんな折、ハサウェイとクェスを連れ、《ロンデニオン》の湖にドライブに出かけたアムロは、偶然にも宿敵シャアと再会する。シャアを追うアムロ。窮地に追いこまれたシャアを救ったのは、意外にもクェスだった。ニュー・タイプに覚醒しつつあるクェスは、瞬時にシャアの思想に共鳴し、ネオ・ジオンに参加するのだった。











# 壊する権利はない。だから、私が粛正する！



人の死に乗った世直ししかできないのがシャアだ。そんな男



# に利用されるクェスも悲惨な結末に…

# STORY DIGEST





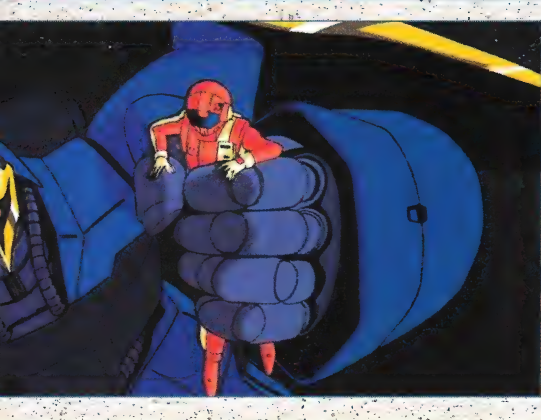














こうして、クェスはネオ・ジオンの本拠地でシャアの部下、ナナイ・ミゲルによってMSのパイロットとして訓練されていった。日増しに向上する自分の能力に歓喜し、ニュータイプに目覚めたクェスは、MS《ヤクト・ドーガ》に乗り参戦。父の乗った戦艦を一瞬のうちに消滅させてしまう。

そんな戦闘の最中、クェスに思いをよせる人工的な強化人間ギュネイ・ガズはシャアがクェスを利用しているのを見かね、シャアから彼女を引き離そうとしていた。

やがて、シャアの野望を知ったブライト率いるロンド・ベル隊は、《ロンデニオン》から出航し、《アクシズ》の空域へと向かった。

その旗艦《ラー・カイラム》に、シャアからクェスを取り戻すべく密航したハサウェイは、ひとりで戦闘に参加しようとした直前に父・ブライトに見つかり制止される。

《アクシズ》付近に到着したロンド・ベル隊は、《リ・ガズィ》に搭乗するケーラ・スゥ率いるMS隊で出撃。だが、同時に《アクシズ》の核パルス・エンジンが点火された。ついに、"隕石落とし"が敢行されたのだ。

地球に落ちていく《アクシズ》を阻止すべく出動した連邦軍MS隊と、迎え撃つネオ・ジオンMS隊の凄まじい戦闘が開始され、アムロも《νガンダム》で戦いに参加した。

その激戦のさ中、ケーラの《リ・ガズィ》がギュネイの攻撃を受け大破し、脱出した彼女は人質となってしまう。ガンダムを手に入れられれば、シャアを倒してクェスを自分のものに出来る……と考えたギュネイは、《νガンダム》を前にして、ガンダムの放棄をアムロに促した。

その瞬間、ガンダムのファンネルがアムロの精神波に過敏に感応し、ガンダムに巻きつけられていた曳航用のワイヤーを切った。怒ったギュネイはMSの巨大な手でケーラを握りつぶしてしまう。

虚空に漂うケーラの亡きがらをガンダムの手が抱き、アムロの悲痛な叫びが宇宙にこだました。

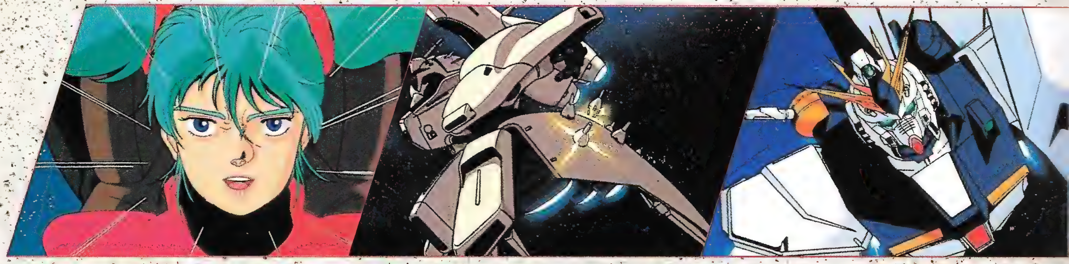
一方、クェスの能力をいちはやく見ぬいていたシャアは、彼女にニュータイプ専用に開発されたモビル・アーマー《アルパ・アジール》を与えた。

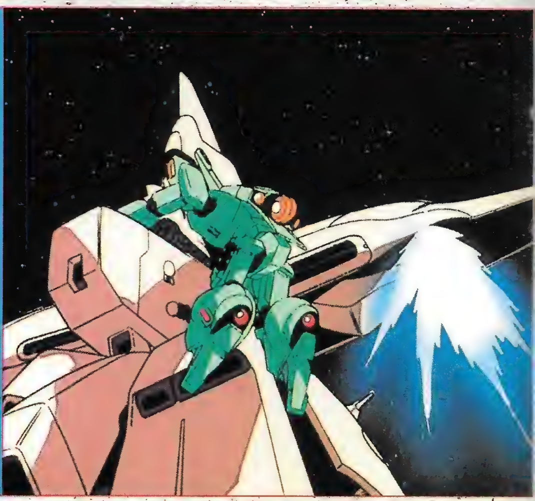
刻一刻と地球に向かって降下していく《アクシズ》……。

# STORY DIGEST

## 革命はいつもインテリが始めるが、夢み

　再び戦闘が開始された――。
　壮絶な戦いがくり広げられ、ギュネイはアムロの攻撃を受け宇宙に散った。
　そんなさ中、ハサウェイはクェスの身を案じ、MS《ジェガン》を駆り、彼女の操る《アルパ・アジールに》取りつき戦いをやめるように訴える。しかし、戦うマシーンと化したクェスは、ハサウェイの説得を聞こうともしない。
　そして、チェーン・アギも愛するアムロ援護のため《リ・ガズィ》で出撃し、クェスの乗る《アルパ・アジール》に攻撃を仕掛けた。しかし、ハサウェイの《ジェガン》がクェスをかばい邪魔をする。混乱の中、《リ・ガズィ》から発射された最後のミサイルが《アルパ・アジール》をとらえ、クェスは宇宙の塵となって消えた。怒りに我を忘れたハサウェイはチェーンを葬らずにはいられなかった…。
　一方、《アクシズ》ではアムロとシャアの最後の死闘がくり広げられていた。人類への絶望から怒りをぶつけるシャアと、あくまでも人類の英知を信じようとするアムロ。二人のMSが激しい火花を散らすその中、ついにブライト達がアクシズの爆破を敢行した。そして、アクシズは真っ二つとなり、一方は地球への軌道をそれ始めたものの、もう一方は皮肉にも速度を増して地球に向かい始めた。
　凄絶な対決の末、シャアのMS《サザビー》は敗れ、シャアは救命ポッドで脱出した。そのポッドをつかんだアムロは、そのまま、ガンダムを落下するアクシズに向けた。
　そこでアムロは意外な事実を知らされた。サイコフレームがネオ・ジオンで開発された技術であり、その情報がシャア自身の思惑から《νガンダム》に与えられたことを――。それは、自分のMSより劣った機体で戦うアムロに勝つことを拒否した、宿命のライバルとしてのシャアのプライドであったのか…。
　ただ1機でアクシズの落下を阻止しようとするアムロ。
　その時、幾多のコロニーから《アクシズ》目がけ沢山のMSが、アムロに協力するため集結して来た。その中には地球からのもの、そして何とネオ・ジオンのMSもあった!!
　アムロの制止を聞かず、次々に《アクシズ》にとりついたMS群が、この小惑星の軌道を変えようと必死の試みを続ける。だが、そのかいもなく1機、また1機とその表面から空しく消え去っていく。
　誰の目にも無謀な行為であった。しかしその時、奇跡が起こった……アクシズの軌道がそれ始めたのだった！
――それは人々の想いのなせる業だったのか……。
　地球は何も答えず、ただ、青く美しく、輝いているばかりだった……。







## たいな目標でやるから、いつも過激なことしかやらない…



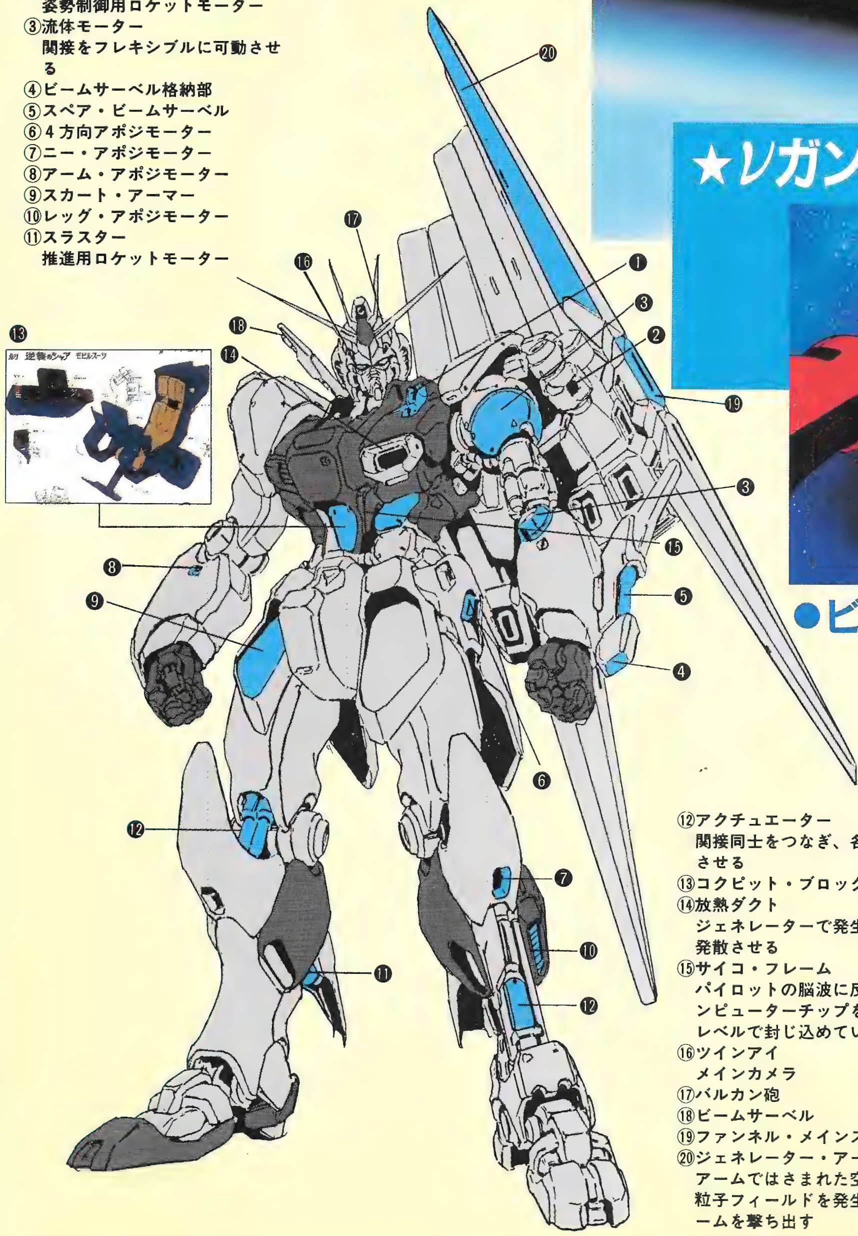
# ALL THAT νGUNDAM

宇宙世紀0079以来、幾多の宇宙戦で新しい局面を開いてきたガンダム…。RX－78にはじまり、Z、ZZという変遷を経たガンダムは、今再びアムロを搭乗者に迎え、ついにνガンダムというシリーズ初のNT(ニュータイプ)専用MS(モビルスーツ)へと進化をとげた!!

このコーナーは歴代ガンダム中最強と噂されるνガンダムを中心に、あわせてシャアのMSサザビーも細部にわたり図解。その勇姿と共に、強さの秘密を徹底解剖する。



①レーザー・センサー
精密照準用センサー
②ショルダー、アポジモーター
姿勢制御用ロケットモーター
③流体モーター
関接をフレキシブルに可動させる
④ビームサーベル格納部
⑤スペア・ビームサーベル
⑥4方向アポジモーター
⑦ニー・アポジモーター
⑧アーム・アポジモーター
⑨スカート・アーマー
⑩レッグ・アポジモーター
⑪スラスター
推進用ロケットモーター

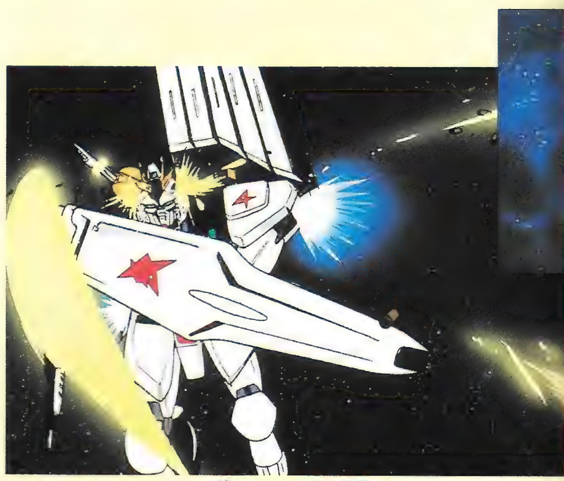


⑫アクチュエーター
関接同士をつなぎ、各部を可動させる
⑬コクピット・ブロック
⑭放熱ダクト
ジェネレーターで発生した熱を発散させる
⑮サイコ・フレーム
パイロットの脳波に反応するコンピューターチップを金属粒子レベルで封じ込めている
⑯ツインアイ
メインカメラ
⑰バルカン砲
⑱ビームサーベル
⑲ファンネル・メインスラスター
⑳ジェネレーター・アーム
アームではさまれた空間にメガ粒子フィールドを発生させ、ビームを撃ち出す

## ★νガンダムの武器



●ビーム・サーベルでサザビーと闘う



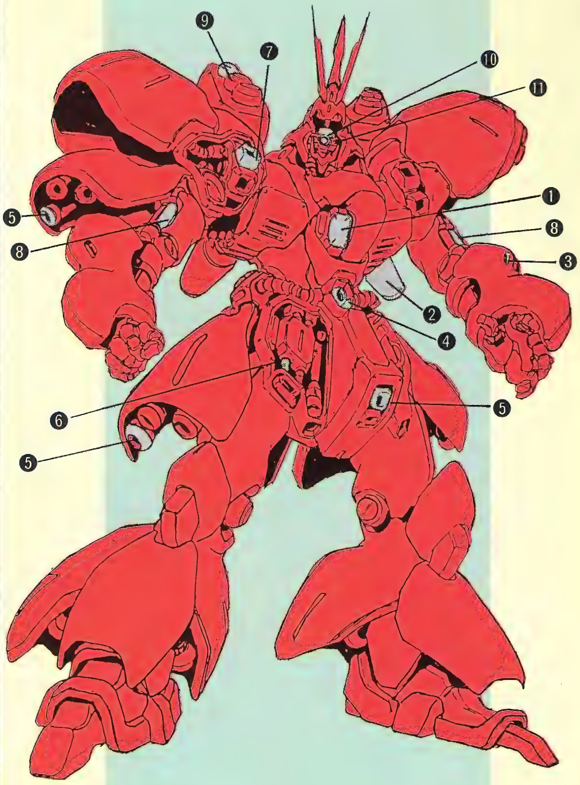
●バルカン砲で攻撃



華麗！ニュー・ガンダムのプラモデルの世界

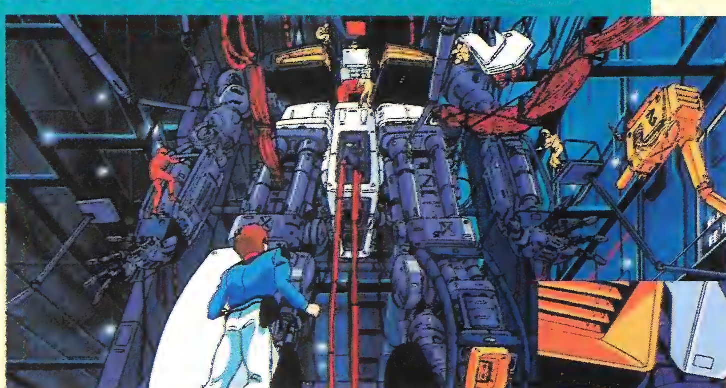
（写真提供 月刊 B・CLUB）

## SAZABI

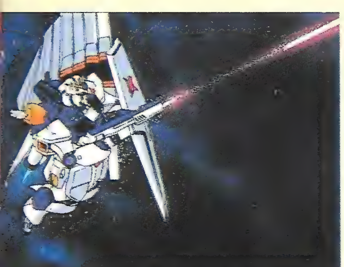



①ジェネレーター
②プロペラントタンク
推進剤増加槽
③マウントラック
シールド装備用ラック
④メガ粒子砲
⑤アポジモーター
姿勢制御用ロケットモーター
⑥スカートアーマー
内部にアポジモーターを内蔵している
⑦ショルダー・アポジモーター
⑧アクチュエーター
関節同士をつなぎ、各部を可動させる
⑨ファンネル・コンテナ
ファンネル3基を装備している
⑩コクピット・ブロック
脱出ブロックとしての機能もある
⑪メイン・カメラ
ターレットにそって360°回転する

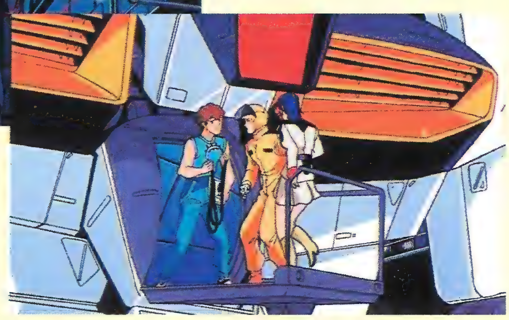
## ★スクリーンで見るνガンダムの細部



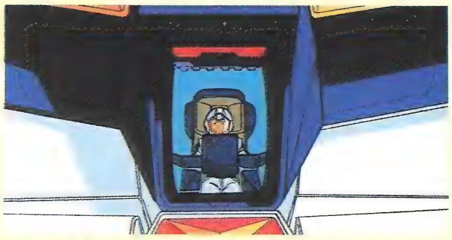
●製造中のニュー・ガンダム



●背中にファンネルを装備し、ビーム・ライフルを射つ



●コクピットハッチ



●コクピット（アムロが座っている）




νGUNDAM
V.S
SAZABI

# 激突する魅力の新

## 地球連邦軍



## ν(ニュー)ガンダム

νGUNDAM(RX-93)

連邦軍が改良を重ねてきたガンダムタイプの最新型で、月面にあるアナハイム・エレクトロニクス社がアムロのために作った試作機。従来のものより更に重武装となっており、20m級のガンダムタイプでは初のニュータイプ対応型MS。フィンファンネルを装備する。

●全高22m●重量27.9t●全備重量63.0t
(武装)ビームサーベル×2、ビームライフル×1、
バルカン砲×2、ハイパーバズーカ×1、
ファンネル×6



## リ・ガズィ

Re-GZ(RGZ-91)

連邦軍対艦戦用MS。Ζガンダムを改良して量産可能としたものだが、造られたのは1機のみである。ブースターパックとのドッキングによりウエイブライダー一体形からの一撃離脱戦法を行う。また、Ζガンダムのように単体での変形は出来ない。

●全高20.5m●重量24.7t●全備重量55.2t
(武装)ビームサーベル×1、ビームライフル×1、
グレネードランチャー×2

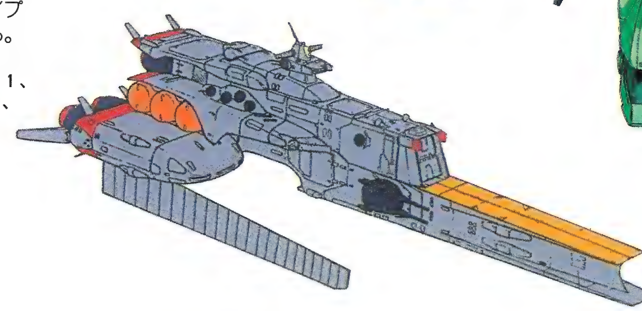


## ジェガン

JEGAN(RGM-89)

GM、ネモの発展型で一般兵士用の連邦軍量産MS。最も大量に前線へ投入されている機種ではあるが、武装・安全性共に充実している。

●全高19.0m●重量21.3t●全備重量47.3t
(武装)ビームサーベル×1、ビームライフル×1、
グレネードラック×3



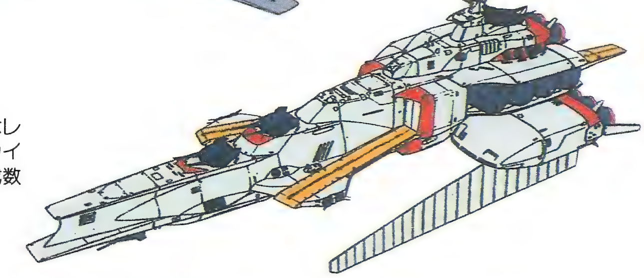
## 巡洋艦

連邦軍の主力艦で下部に巨大なレーダーを装備している。ラー・カイラムに比べて軽武装でMS搭載数も少ない。



## GMIII

ティターンズ、エゥーゴ戦に使用されていたGMIIのマイナーチェンジだが武装面も軽量化されている。ジェガンの登場・量産化にともない旧式となっているが、地球連邦軍ではまだまだ一線で働いている機体。



## 宇宙艦 ラー・カイラム

ブライトが指揮をとるロンド・ベル隊の旗艦で、νガンダムをはじめとする多数のMSを搭載する。かつてのホワイトベースやアーガマとは異なり通常ブリッジの他にも戦闘用ブリッジがあり、乗組員は戦闘時に移動する。

# メカ群! MECHANICAL CHARACTERS

## ネオ・ジオン軍



## ヤクト・ドーガ
JAGD DOGA(MSN-03)

クェス、ギュネイが搭乗するMSで、サザビー同様にサイコミュシステムを搭載しているニュータイプ専用機。クェスとギュネイの機では頭部、カラーリングが異なる。

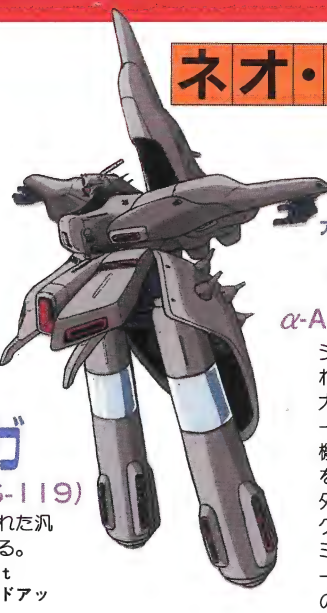
●全高21.0m●重量28.0t●全備重量46.6t
(武装)ビームサーベル×1、ビームアサルトサーベル×1、ファンネル×6



## ギラ・ドーガ
GEARA DOGA(AMS-119)

ザクの後継機種で一般兵士用に開発された汎用MS。汎用ながら武装は充実している。

●全高20.0m●重量23.0t●全備重量50.8t
(武装)ビームマシンガン×1、ビームソードアックス×1



## α・アジール(アルパ)
α-AZIERU(NZ-333)

シャアからクェスに与えられたニュータイプ専用の超大型MA(モビル・アーマー)。他のニュータイプ専用機種と同じく、ファンネルを搭載しているが、それ以外にもかつてのMSジオングにみられた有線式サイコミュを装備。これによりオールレンジ攻撃も可能。その戦闘能力は他を圧倒する驚異のMA。

●全高108.26m●重量128.6t
●全備重量267.4t
(武装)バルカン砲×1、メガ粒子砲×1、メガビーム砲×2、ファンネル×9



## ホビー・ハイザック

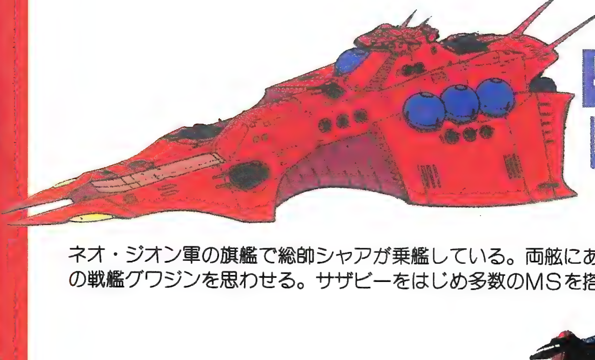
連邦軍の標準機体として使用されていた主力MSハイザックをホビー/スポーツ機としてさらに改造したもの。ギュネイ・ガスがロンデニオンにおいてシャア達を回収する時に使用した機体。武装はされていない。



## サザビー
SAZABI(MSN-04)

シャア専用ニュータイプ対応の重攻撃MSで、サイコミュシステムを搭載。ファンネルによる変幻自在の攻撃が可能。頭部に脱出カプセル兼用のコクピットがある。

●全高23.0m●重量39.5t●全備重量71.2t
(武装)ビームショットライフル×1、ビームトマホーク×1、ファンネル×6、ビームサーベル×1



## 宇宙艦
## レウルーラ

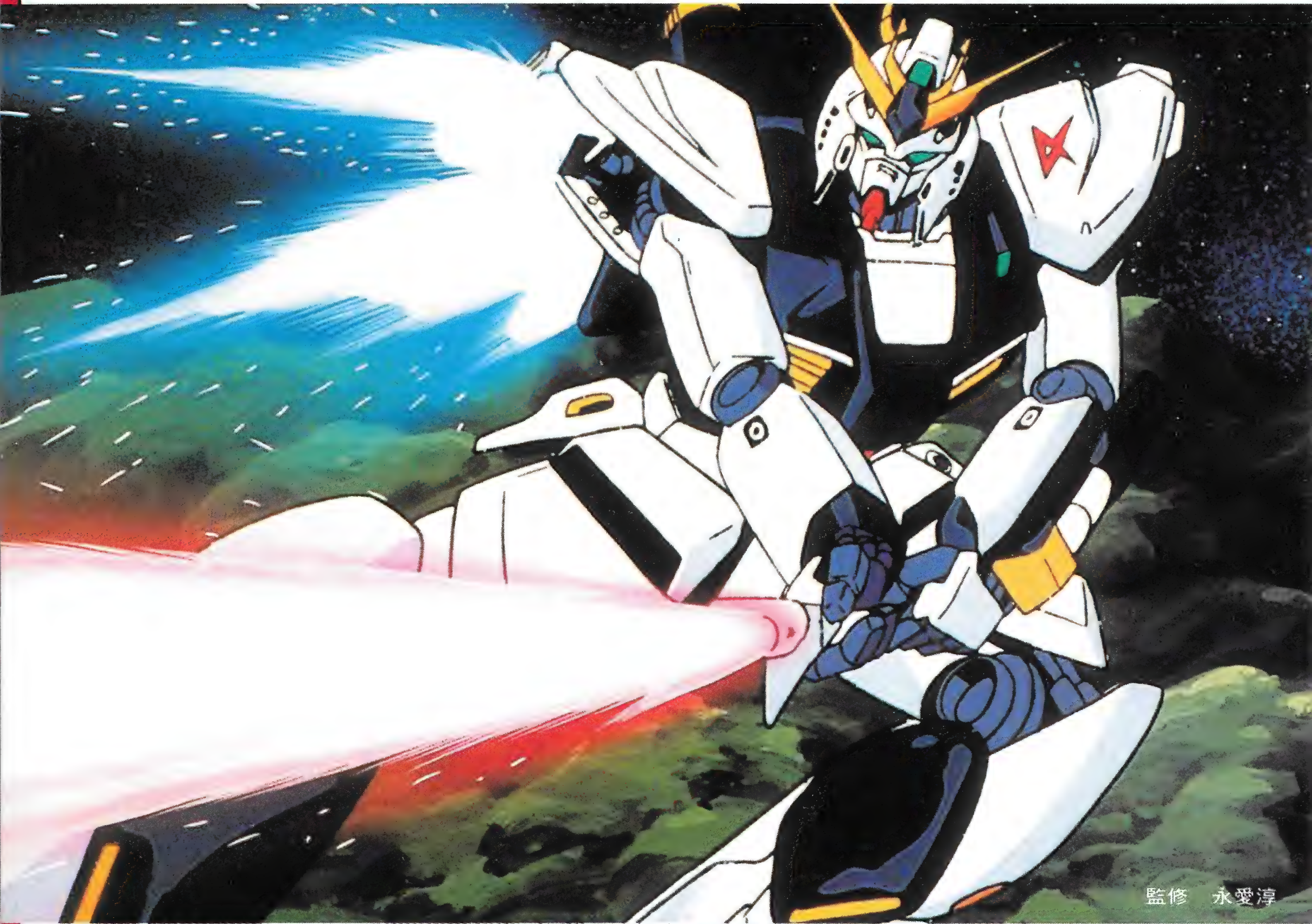
ネオ・ジオン軍の旗艦で総帥シャアが乗艦している。両舷にある円形のタンクが旧ジオン軍の戦艦グワジンを思わせる。サザビーをはじめ多数のMSを搭載。戦闘力絶大の宇宙戦艦。



## ムサカ

ネオ・ジオン軍の巡洋艦。旧ジオン軍のムサイの後継機ではあるが、印象はかなり異なる。武装、MS収容能力などが向上しており、両舷に入っているラインで艦の識別が出来る。

# GUNDAM DICTIONARY



監修　永愛淳

## アクシズ



一年戦争終結後、連邦軍に敗れた旧ジオン軍の残党が落ちのびた小惑星。7年後、工業力を回復し要塞化、ジオン再興のための拠点となる。しかし、ティターンズとの戦闘の際、ティターンズの本拠地「ゼダンの門」(旧ア・バオア・クー)に体当たりを敢行。ハマーン戦争以後、連邦政府が管理していた。

## アナハイム エレクトロニクス社

月にある軍需企業で、νガンダムはここで製作された。今までにもZガンダム、ZZガンダムといったガンダム・シリーズの傑作機を製作しているが、連邦側のMSばかりではなくネオ・ジオン側のMSも製作している。

## 一年戦争

U.C.0079、地球連邦政府に対してジオン公国を名乗るスペース・コロニー〈サイド3〉がおこした独立戦争。「赤い彗星」の異名を持つジオン側のシャア・アズナブルと、全くの偶然から初代ガンダムに乗りこんだアムロ・レイが死闘を演じた。この戦争に敗れたジオン公国は、その後共和制に移行する。

## エゥーゴ

A・E・U・G＝反地球連邦政府活動組織。一年戦争後、閑職にまわされていたブライト・ノア、連邦軍の軍籍を手に入れクワトロ・バジーナと名乗っていたシャア・アズナブルを中心とした連邦の軍国主義に反発する組織。その後、ニュータイプであるがために危険人物として連邦軍の監視下におかれていたアムロ・レイを迎え入れる。

## グリプス戦役

一年戦争の7年後、独裁体制組織ティターンズと、それに対抗するエゥーゴとの戦い。その途中、ジオン再興を目指して台頭してきたハマーン(ネオ・ジオン)が三つ巴の戦闘を繰り広げた。後にエゥーゴの正当性が認められティターンズと立場が逆転。エゥーゴは連邦政府と共闘しティターンズを倒す。

## サイコフレーム

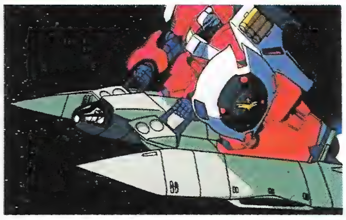
MSの対応を早くするためコクピット部の周囲の材質にパイロットの脳波を感知するコンピューターチップ(サイコチップ)を金属粒子なみのレベルで封じ込めた新素材。

νガンダムの製造にあたったアナハイム・エレクトロニクス社が組み込んだシステムであったが、実はネオ・ジオンで開発されたものでシャアが連邦側にわざとリークした技術である。

## サイコミュ

サイコ・コミュニケーターの略称。ニュータイプの精神波を感知、増幅してビーム兵器〈ファンネル〉を繰作するシステム。歴代ガンダムの中でこのシステムを搭載したのはνガンダムが初めて。

## シャクルズ



連邦軍のベースジャバーに対する、ネオ・ジオンが使用する宇宙MS運搬メカ。ジャバーよりひとまわり小型で、コクピットがあり一人乗り。

## ショックバルーン

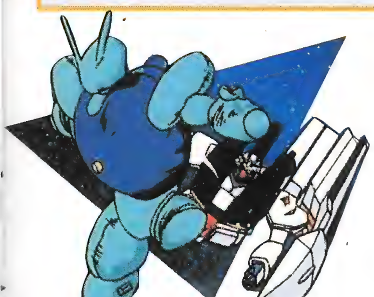


MSコクピット内のパイロット保護システム。衝撃が加わるのと同時にシート上部から高圧ガスのはたらきにより風船のようにふくらんだエアバックが飛び出し、ショックを和らげパイロットを守る。その後は再び自動的に収納される。

## スウィートウォーター

シャア大佐を総帥とするネオ・ジオン軍の拠点となる独立コロニー。過去の宇宙戦争で生まれた難民のために、ジオン公国式の密閉型と普通のオープン型をつなぎ合わせて急拠建造されたため、不安定なタイプのコロニーとなっている。

## ダミー

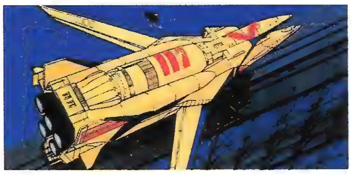


この時代、電波障害を起こすミノフスキー粒子下の有視界戦闘時に、敵の攻撃から目標を撹乱させるために使用される風船。MSや宇宙艦からカプセルとして打ち出され、真空中でふくらむ。大きさも形もMS位のものから宇宙艦位のものまで多種多様である。

## ティターンズ

一年戦争の7年後、ジオン軍の残党狩り部隊をエリート部隊に昇格させ、地球連邦政府の後ろ盾を得て台頭してきた急進派組織。エリートによる地球支配をもくろむ。これを阻止しようとするエゥーゴと戦う。

## 天鹿



全長40mの多段式スペース・シャトル。地表からは可変翼をもつ母船とともにレールに沿って打ち上げられ、その後、ブースターを切り離して目的地へ向かう。

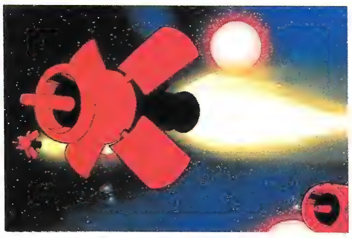
## ネオ・ジオン

一年戦争後、逃げのびたジオン残存勢力が、ザビ家の血を引くミネバ・ラオ・ザビ（ドズル・ザビの娘）を総帥として結成。その実権は摂政ハマーン・カーンに握られていた。グリプス戦役時、地球連邦政府の混乱に乗じ、ハマーンは各コロニーに使者を派遣し、大部隊を地上へ降ろす。連邦政府はその討伐をエゥーゴに命じ、結局、ネオ・ジオン軍は内紛などもあって崩壊。シャアはその残りの戦力と、今までの大戦による宇宙移民の数の多いコロニー（スウィート・ウォーターなど）の反乱分子を集め、新生ネオ・ジオンの再興を果たした。

## ハマーン・カーン

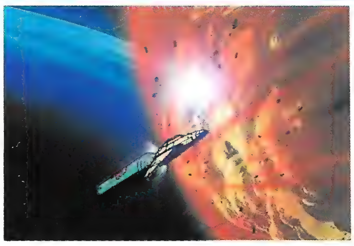
ザビ家の思想ではなく、ジオン・ダイクンの思想を受け継ぐマハジャラ・カーンを父に持ち、アクシズに逃げのびたジオンの残存勢力をまとめその再興を図った。ミネバ・ザビ（実は影武者だった）を総帥に押したて、自分はその摂政として実権を握った。時に、自らMSを駆り、エゥーゴとティターンズに挑んだ。

## ファンネル



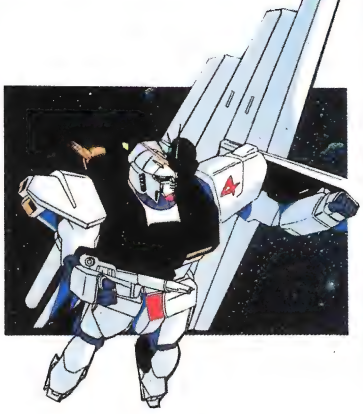
サイコミュにより複数のレーザービーム砲を自機から離れた場所に移動させ、多方向から敵を狙撃することを目的とした兵器。ミノフスキー粒子の干渉を受けずにコントロールが出来る。実戦で初めて使用されたのがジオン軍のニュータイプ、ララアの搭乗したMAエルメス。

## 5thルナ（フィフスルナ）



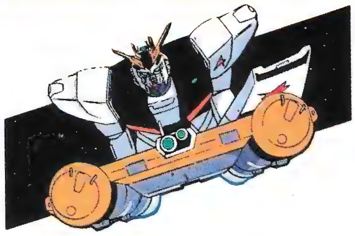
映画の冒頭、シャアが地球に落とそうとした小惑星。それをくい止めるためアムロはリ・ガズィでシャアのサザビーと対決するが、圧倒的性能を誇るサザビーの敵ではなく、結局この小惑星は地球連邦政府所在地であるチベットのラサに落ちた。

## フィン・ファンネル



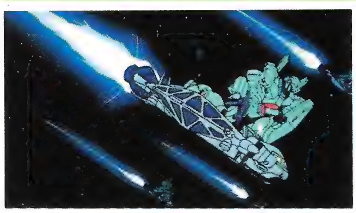
νガンダムの背に束ねられたアムロ自らの設計による6枚のファンネル。このファンネルは今までのファンネルと異なり羽根状をしていることから〈フィン・ファンネル〉と呼ばれる。また、通常のファンネルがレーザービーム砲であるのに対し、これは今まで小型化が困難とされてきたメガ粒子砲であり、凄まじい威力を持つ。さらに、自機を取り囲ませ、ピラミッド状に配置することでバリアーとしての機能も発揮する。

## ブースター・ベッド



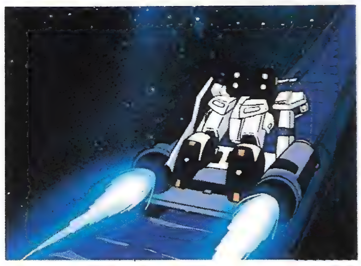
マス・ドライバーによって打ち出されたνガンダムが乗った長距離輸送メカ。ベースジャバーと同じブースターを装備しているが、操縦席はなくパイロットもいないため目的地に着いたら回収され再使用されるか、もしくは、そのまま捨てられる。

## ベースジャバー



MSを1機ないし2機乗せて目的地まで運ぶ宇宙用の輸送メカ。操縦席があるがMSから直接操縦することも可能。長距離飛行する場合はブースターや増槽を取りつける。ゲタなどと呼ばれることもある。

## マス・ドライバー



低重力の月面上より、物質を特定の目標へ目がけリニア・レール・ガンなどを使用して打ち出す輸送システム。宇宙船を使うよりも低コストですむ方法であるが、射出時に巨大なG、到着時にも同様のGがはたらくことから人間や動物などの輸送には不向きとされる。

## ミノフスキー粒子

U．C．0069、ミノフスキー博士によって発見された強い帯電機能をもつ微粒子。電波攪乱をおこすため、レーダーの機能を妨害する特性をもつ。

## メッド



ロンデニオンに着いたハサウェイがジャンク屋から50ケ月ローンで買った簡易作業用小型MS（プチモビなどと呼ばれる）。

## ルナ2

スペース・コロニー建設のため、月と同一軌道上に運ばれてきた小惑星で、連邦軍基地のひとつ。旧世紀からの核兵器が貯蔵されており、シャアはそれをアクシズに運びこみ“隕石落とし”に利用する。

## ロンデニオン

サイド1のオープンタイプのコロニー。ロンド・ベル隊の本拠地コロニーでもある。連邦政府代表アデナウアー・パラヤがシャアと和平交渉を行った。

## ロンド・ベル隊

ネオ・ジオン狩りを目的とした連邦側の部隊で、ほとんどがかつてのエゥーゴのメンバーで構成されている。しばらく戦争がなかったため地球連邦軍は組織の維持に苦心しており、この「実力はあるが、扱いづらい」部隊に対して、新型MSの配備などはするが全面支援はしようとしない。

# GUNDAM HISTORY

# ガンダムの10年――富野アニメ

「逆襲のシャア」から遡ること10年。映画が沈滞し、テレビが過激さを忘れ、ビデオソフトはいまだ黎明期だった1978年に、「機動戦士ガンダム」の企画は生まれた。

ロボットアニメとして発想された「ガンダム」が、後に日本の若者映画の代表選手の座に駆け登ってゆく様は、さながらサクセス・ストーリーだが、富野由悠季監督とて企画当初はそこまで明確な意識を持っていたわけではない。

「ガンダムを作るきっかけですが(中略)本音はただ一つです。ごたいそうなものじゃなくてね、『ヤマトをつぶせ！』これです、他にありません」(アニメック昭和55年4月1日発行号・ラポート社より)

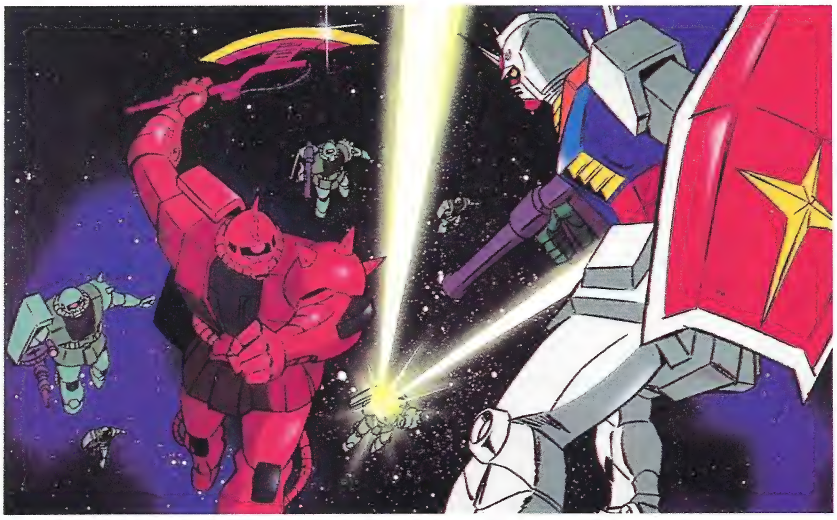
というコメントが、何より雄弁に当時の監督の気持ちを語っている。(傑作には企画段階から崇高なテーマがある――なんて思っている人は、思いこみが激しい傾向あり。気をつけてね）だが、こうした単純な動機で作られたフィルムは怖い。他に向いている人々の目を、自分の方に引きつけたい、引きつけてみせるという強烈な自己主張。見る者を驚かせてやる！　というエンタティメント映像の基本が無意識のうちにフィルムの中にぬりこめられるからだ。それは、言いかえるならば、アニメ演出家となって十数年、(当時）富野監督が心中にためてきた想い…「なぜアニメだからって、一段低く見られなきゃいけないんだ！」

が、爆発した瞬間だったのだろう。そしてそれだけの年月、世の人に認められる作品を作ろう――と、じっと一点を見すえてきた、もうひとつの想いの発露。

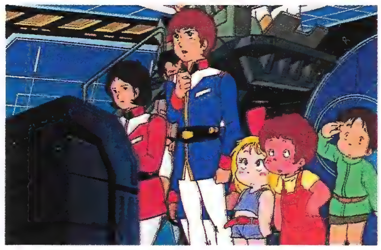
「下積みの時代が長い人は、その時代に自分なりの情報を蓄えて、いざ鎌倉に備えることができるし、そのような自己修練を重ねる事をする」(重戦機エルガイムⅠ・角川書店）――と監督は後に書いている。一作目の「ガンダム」というフィルムの中には、こうした覇気と怨念のあいなかばした奇妙な熱気が充満していた。

ひとつの想いは、波紋となって見る者に伝わってゆく。「ガンダム」の熱気は、テレビから劇場映画となって若者を魅了し、さらにプラモデルを通して、小学生たちにも波及した。それは、まさに一陣の熱波のようだった。

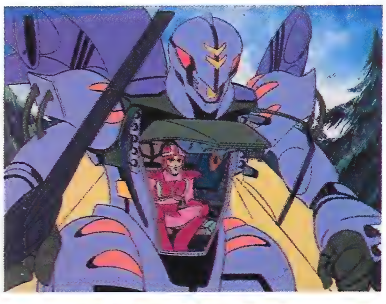
「ガンダム」の企画から10年がたって、ひとつ明確に言えることがある。それは、この、「たかがアニメ」によって、現実に生き方を変えてしまった若者たちが続出したことだ。あるロック青年は、ベースをペンに持ち変え、アニメのメカニックデザイナーに…最近では人気コミックの



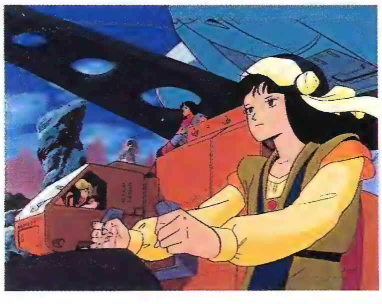
「機動戦士ガンダム」1979年4月〜1980年までテレビ朝日系で放映。一部のファンの熱狂的な支持をうけ、81年春に映画化された。「ロボットアニメでもこんな作品が作れるのか！」と驚くべき内容。



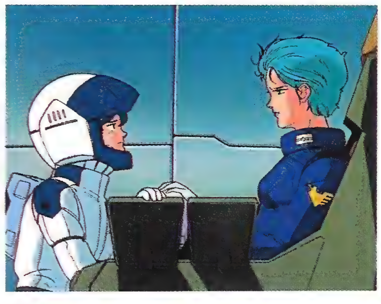
「機動戦士ガンダムⅡ哀・戦士編」1981年夏に松竹系で公開。第1作がテレビ版のダイジェスト的作品だったのに比べると、映画として編集力は格段にアップした。ラストのテーマ曲の入り方が良。



「聖戦士ダンバイン」1983年2月〜1984年1月までテレビ朝日系で放映。富野由悠季のオリジナルの世界観を最も強く反映した作品。後半、スポンサー事情により作風を一変させて放映を全うした。



「重戦機エルガイム」1984年1月〜1985年2月までテレビ朝日系で放映。架空の世界ペンタゴナ・ワールドに、若き勇者ダバ・マイロードが活躍する。人気メカ＆キャラデザイナー永野護デビュー。



「機動戦士Ζガンダム」1985年3月〜1986年1月までテレビ朝日系で放映。前「ガンダム」の7年後の世界を舞台に、シリアスなストレスドラマが展開される。主人公カミーユとフォウの愛が話題。

# に運命を変えられて

角川書店ニュータイプ編集部
井上伸一郎

作者へと変貌した。ある大学生は、卒業後スポンサーの玩具会社に就職し今はファミコン名人だ。シャアやアムロに魅せられたひとりの少女は、演劇の道へと進み、今は声優として活躍している。何といっても今回の「逆襲のシャア」のメインスタッフに名を連ねる面々は、ほとんどが一作目の「ガンダム」の影響でアニメ界の門をくぐったというから、恐れ入る。直接、アニメ界にかかわりを持たなくても、この作品のために進路を変えられた若者たちは、千の単位ではきかないのではないだろうか？

そう、かつてひとりの演出家の怨念を背負って生まれた作品は、今や何千何万もの人々の想い（怨念？）の対象となった。

「そんなのは自分の問題でしょう!!　責任とれ、なんて言われても、僕は知りません！」――などという富野監督の声が聞こえてきそうだ。だが、彼らと同じく「ガンダム」がなければ編集の道に足を踏みこまなかっただろう私には（耳をふさいでも）聞こえてくるのだ。かつてのファンだった者たちの

「ガンダムを超える、次代のオピニオン・リーダーになるアニメを見せてもらえなければ安心して青春を終えられない！」

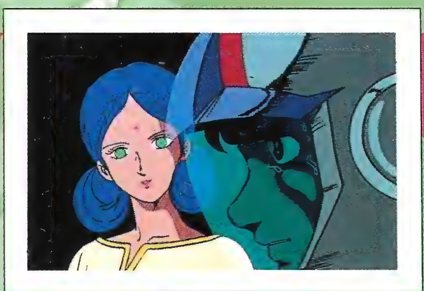
という声が。もちろん「たかがアニメ」である。私たちには現実の生活があるし（それをちゃんとやってみせてもいるだろう？）「ガンダム」以後――正確には、「イデオン」の後――の富野作品が、己を殺し、より多くの者を生かすために作られたのだ、という過程も（優しいファンならば）知っているはずだ。

だけど今、時代の気分は、「ガンダム」のアンチテーゼとなるべき作品を強烈に求めている。（かつてガンダムがヤマトのアンチテーゼとして生まれたように）富野監督が次に目指すとしたら、おそらくそんな作品だろう。

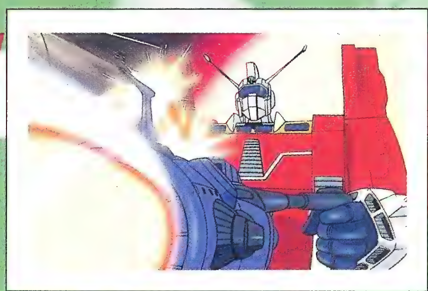
「ガンダム」は個人的な執念から生まれた作品だ。誰よりも敏感にそれを感じた富野監督は、この数年間、身をもって禊をたててきた。自分のためではなく、アニメ界全体の活性化を想定して行動し、作品を作ってきた。

その姿勢の集大成として完成したのが、今回の「逆襲のシャア」といえる。

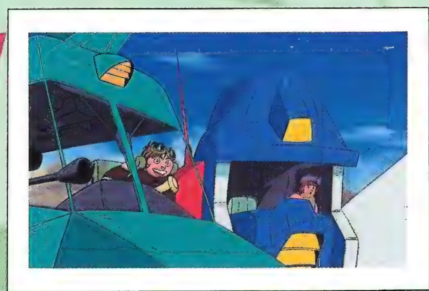
怨念から生まれたがゆえに強烈な光を放ってみせたかつての「ガンダム」を、「共にいい生き方をしよう！」というメッセージに支えられた「逆襲のシャア」が超えてみせるか。それとも、それは次回作に託されるのか。「ガンダム」に進む道を変えられた者のひとりとして、見つめていきたい。



「機動戦士ガンダムⅢめぐりあい宇宙」1982年春に劇場公開。ガンダム・シリーズ最大のヒットを飛ばした。テレビシリーズの後半をベースに構成され、完成度が最も高いと評価されている。



「伝説巨神イデオン」1980年5月～1981年1月までテレビ東京系で放映。無限エネルギー・イデをめぐる異種文明の戦いを描く。人間の“業”を強く感じさせる壮絶な一品。1982年夏に映画化。



「戦闘メカ・ザブングル」1982年3月～1983年1月までテレビ朝日系で放映。演出の前任者が突然降板し、急きょ富野監督がピンチヒッターに立った作品。とにかく元気な画面。1984年夏に映画化。

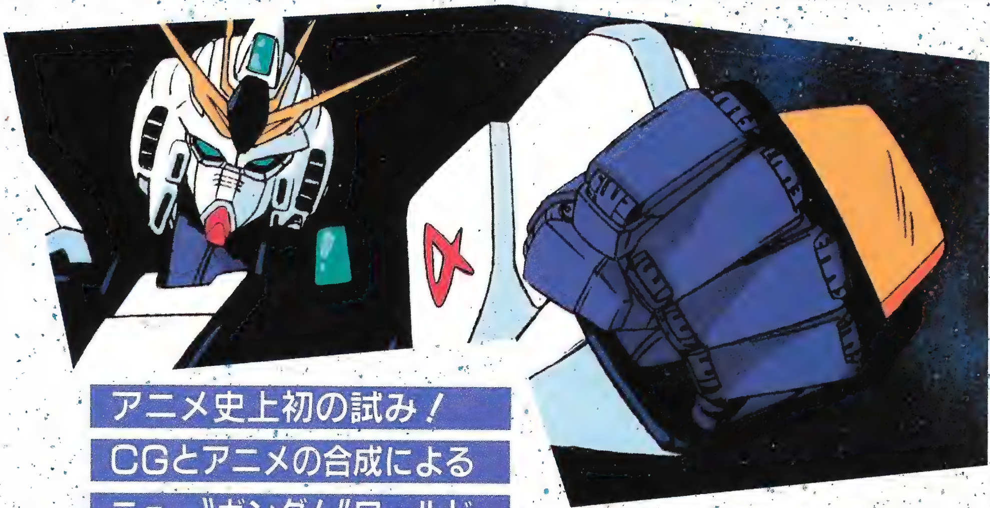


「機動戦士ガンダムＺＺ」1986年3月～1987年1月までテレビ朝日系で放映。「Ｚガンダム」から継続するストーリー。主人公は14才のジュドー・アーシタ。ニュータイプ少女プルに人気が集中！



「機動戦士ガンダム／逆襲のシャア」1988年3月公開。テレビシリーズ終了後5年後が舞台。意外にも、この作品が富野監督が劇場版で監督する初のオリジナル作品である。実に企画誕生後10年がたっていた。

# PRODUCTION NOTE



## アニメ史上初の試み！ CGとアニメの合成による ニュー"ガンダム"ワールド

"ガンダム"初の完全オリジナル最新作として製作されるこの「機動戦士ガンダム・逆襲のシャア」は、全ての意味でシリーズ最高のスケールで観客の眼に触れるだろう。

総作画枚数10万枚という数に代表されるように、密度の濃い画面作りも去ることながら、"ガンダム"独特のMSの戦闘シーンも、ある面では、フルアニメーションを超える動きを見せ、迫力とスケール感は特筆に値する。

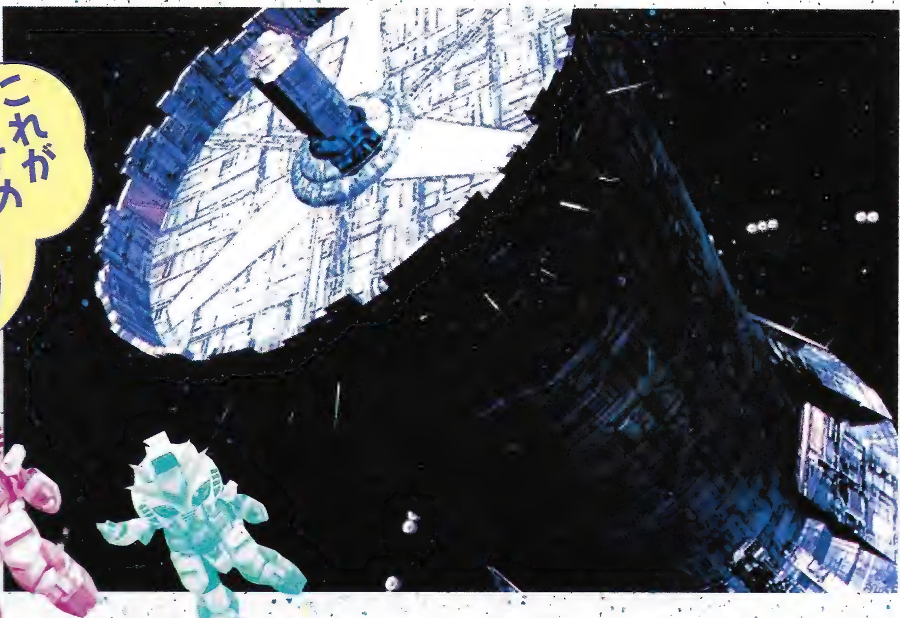
また、10年の流れの中で、アニメ技術も飛躍的進歩をとげた。設定自体も、10年前は、スペースコロニーの概念も一般的ではなく、机上の空論的ものであったが、現在はその設定も実現可能となってきている。まさに、"ガンダム"は時代を予見していたのだといえよう。そんな中でも、映像技術としては一般化した感じのあるCG(コンピューター・グラフィックス)と、アニメーションとの合成というアニメ映画史上初の試みを、この映画に採り入れている事も、作品に対する意気込みを感じさせる。ただ一見何の変哲もないシーンに思える(逆に、技術を使用していることを感じさせない技術の粋)この効果を、あなたは見分けることが出来るだろうか？

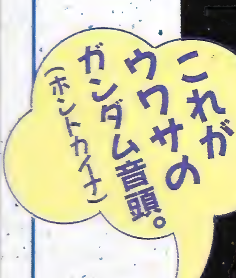
## 世界から注目を 集める"ガンダム"

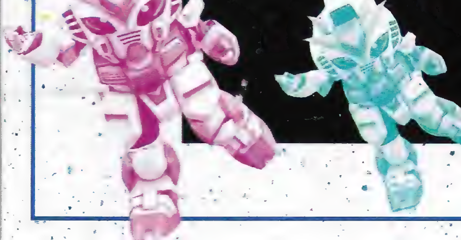
「ブレードランナー」「2010年」「エイリアン2」などのコンセプト・デザイナーとしてアメリカの大作映画を中心に活躍するシド・ミードは"ガンダム"傾倒者の1人。彼が、テレビ版「Zガンダム」のポスターを担当していた事はあまり知られていないが、「エイリアン2」でシドニー・ウィーバーが乗り、"エイリアンクイーン"と死闘を演じる〈パワーローダー〉は、ガンダム（モビルスーツ）をより現実化したものと言うことができるだろう。

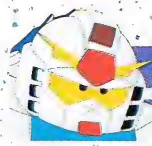
その「エイリアン2」の監督を担当したジェームス・キャメロン（あの「ターミネーター」も彼の作品）もまた"ガンダム"の信奉者の1人である。

また、「スターウォーズ」シリーズの衣装デザインを手掛けたニーロ・ローディスも、熱烈な日本アニメのファンとして知られており、その中でも"ガンダム"に特に期待を寄せている1人である。







## SDガンダム ニセモノ騒動

"ガチャポン"と呼ばれる100円の自動販売機で売られているSDガンダムのニセモノを製造、販売していた業者が'87年末に小学生の通報で分り摘発された。このニュースはテレビ、新聞の社会面で大きく扱っていたから記憶している人も多いと思う。

このガンダムに便乗した悪徳業者が出現するのも逆に言えばそれだけ人気が高い証拠。ただ、ニセモノを見破った小学生には脱帽、脱帽！





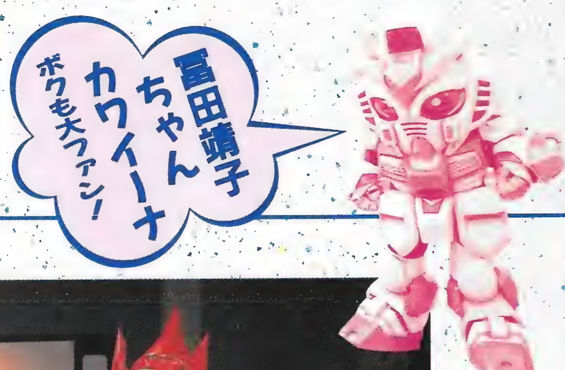

## 人気のSDガンダム アニメで登場！

"ガチャポン"や雑誌「コミックボンボン」でおなじみのSDガンダムがオリジナルビデオとして本家のまじめさを尻目に登場した(製作バンダイ)。"SD"とはSuper Deformer（スーパー・デフォルメ）の略で、2頭身キャラのこと。

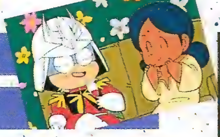
3部構成のこのアニメ、旧作やテレビシリーズに登場したおなじみのキャラクター、メカが総出演して、パロディ精神タップリに笑わせてくれる。もちろん声優陣も本家と同じ。その上、アムロ、カミーユ、ジュドーが共演しているのも楽しみのひとつ(!?)。各キャラクターの意外な側面が見え隠れするのも魅力。

とにかくはじめからおわりまでファンは笑いっぱなしの超傑作で、もっと長く楽しみたいの声しきり…1話が8分で3話分作られたがバンダイからビデオで発表されるよ。






## ガンダム特番に冨田靖子出演

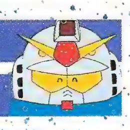




映画の公開を前に緊急特番がテレビ朝日・名古屋テレビ系で放送された。富野監督、古谷徹、池田秀一、川村万梨阿という豪華ゲストを迎えた30分の特別番組。この番組の司会役を務めたのはテレビ、映画で活躍を続けるタレントの冨田靖子さん。靖子さんは、テレビシリーズの頃からの"大のガンダム"ファンで、特に、シャアの熱狂的ファン。シャア役の池田さんとの対面に感激する一幕も…。一方アムロ役の古谷さんはそれを見て少し嫉妬していたよう…？

番組のラストで、富野監督から、靖子さんのサイズに合わせたシャアの衣裳がプレゼントされた。こうしたスタジオの熱気がブラウン管を通してお茶の間におくられ、おかげで視聴率もグンとよかったとか。

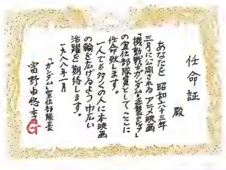
## 全国に10000人の宣伝部隊員誕生！



映画への意欲的参加をうながすため、全国から〈ガンダム宣伝部隊員〉を先着限定で、10000名募集した。部隊長は監督の富野由悠季氏。資格はガンダム・ファンを自認する人なら誰でもOKという幅広いものだ。

隊員には、任命証と隊員証の他、スタッフシールとステッカーが配布され、全国津々浦々で宣伝活動が行われた。その内容は、学校でのファン拡張運動や校内新聞への投稿といったものから、主題歌リクエストや、雑誌への投稿など独自の方法で実施された。

（中には、特典だけもらって活動しなかった人もいるみたいですが、とは部隊員事務局のお兄さんの弁）それにしてもニュー・ガンダムが盛りあがったのは彼らのおかげ。この記事を読んでいるあなたももしかしたら隊員かもね。みなさんありがとう。誌上を借りてお礼申しあげます！



任命証

殿

あなたを 昭和六十三年三月に公開される アニメ映画「機動戦士ガンダム・逆襲のシャア」の宣伝部隊員として ここに任命致します。

一人でも多くの人に本映画の輪を広げるよう [illegible] 活躍を期待します。

一九八八年一月

「ガンダム」宣伝部隊長

富野由悠季




## ガンダム、サザビーぬいぐるみ大活躍！

映画の宣伝プロモーションのため、νガンダムとサザビーのぬいぐるみ（ただしSD）が作られ、キャンペーン活動に一役買った。

イベント会場のマスコットや、模型展のホスト役として登場、特番出演まで果たし、まさに引っぱりダコの大活躍。

このSDのぬいぐるみ。雑誌社や新聞社へも出没して、「平凡パンチ」では節分の鬼退治役として、「報知新聞」では美人レオタードギャル２人を従えてデスクの電話番をするなど、各所で愛嬌をふりまくという、神出鬼没の存在であった。ただ、２頭身という体型のためか、映画のようなスバヤイ動きが出来ない難点があったみたい。




写真提供
平凡パンチ



写真提供／報知新聞




ガンダムはやっぱり最高です！（一同）







## 古谷　徹
（アムロ・レイ）

人類は革新して、言葉がなくても分かりあえるような存在になりうるんじゃないかという夢をもたせてくれるのがステキですね。それと戦争でしか分かりあえない今の人類の愚かさを、見てくれる人が感じてくれれば…



## 鈴置洋孝
（ブライト・ノア）

ガンダムはファンの人たちはメカに興味があるようですが、僕は人間ドラマに惹かれます。ミライさんとからんでないのがさびしい。



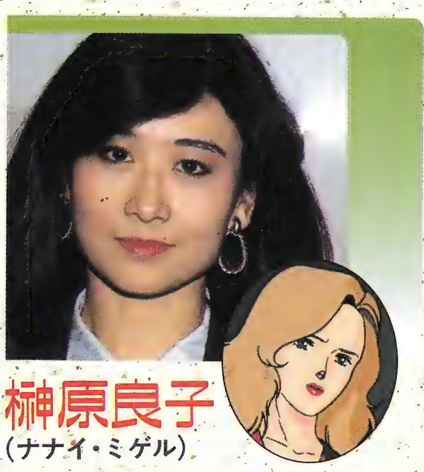
## 白石冬美
（ミライ・ヤシマ）

今回出番は少ないんですけど、ガンダムの世界の中でもちゃんと家庭をもっているという体験は良かったです。実生活の劣等生としては…。



## 池田秀一
（シャア・アズナブル）

0079から９年たつけどその集大成です。Ζのころのクワトロというのは冬眠してたみたいで、今回その休んでいた分の反動でアクティブになっているような感じですね。



## 榊原良子
（ナナイ・ミゲル）

ナナイは盲目的にシャアを好きだというタイプみたい。私も盲目的に人を好きになるタイプなのでありのままにやりました。



## 川村万梨阿
（クェス・パラヤ）

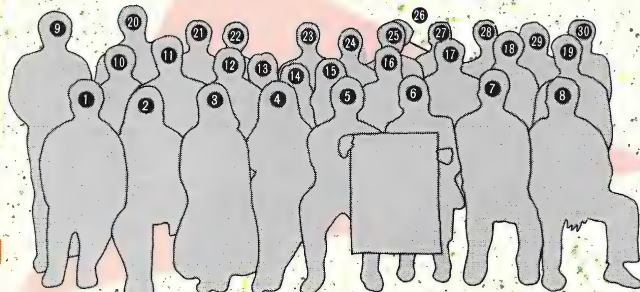
すごく素直で感受性の強い子なので、そういった感じが伝わって、決して観た人にわがままでカンシャク持ちの子に見えないようがんばりました。



# MESSAGE MAINCAST



『機動戦士ガンダム・逆襲のシャア』のアフレコは1月22日～24日の3日間、東京・日本橋浜町にある東京テレビセンター101スタジオで行われた（このスタジオからサンライズの傑作アニメ『クラッシャージョウ』『アリオン』『ダーティペア』が生まれている）。総勢30人を越えるキャストに熱気ムンムン。久しぶりにキャラクターと再会する声優さんや新しい声優陣も加わり、新作への意気込みが感じられた。



| | | |
|---|---|---|
| ①石森達幸 | ⑪山寺宏一 | ㉑池田勝 |
| ②榊原良子 | ⑫秋元洋介 | ㉒石塚運昇 |
| ③弥生みつき | ⑬戸谷公次 | ㉓富野由悠季監督 |
| ④川村万梨阿 | ⑭伊倉一恵 | ㉔塚田正昭 |
| ⑤古谷徹 | ⑮安達忍 | ㉕星野充昭 |
| ⑥池田秀一 | ⑯丸尾和子 | ㉖高宮俊介 |
| ⑦鈴置洋孝 | ⑰島田敏 | ㉗村山明 |
| ⑧村松康雄 | ⑱広森信吾 | ㉘牛山茂 |
| ⑨嶋俊介 | ⑲佐々木望 | ㉙竹村拓 |
| ⑩柴木広之 | ⑳島香裕 | ㉚曽我部和恭 |



## 弥生みつき
（チェーン・アギ）

チェーンというのは女の子と大人の女の人の中間を行ったり来たりのような役どころで難しかったですね。



## 山寺宏一
（ギュネイ・ガス）

ギュネイというニュー・キャラクターはなかなか多感で今までと違うニュータイプですから、難しいけどやり甲斐がありましたね。



## 安達　忍
（ケーラ・スゥ）

心理描写をとらえるのに苦労しました。メカものは初めてだし、こういうカッコイイ、頭の良さそうな役も初めてで、とまどいました。



## 佐々木　望
（ハサウェイ・ノア）

ハサウェイというのは顔はお坊ちゃんみたいだけど、したたかな面があって、役にとって不足はなかったなあ。



## 伊倉一恵
（レズン・シュナイダー）

戦っているシーンが多く強い女というイメージがありますが、ニュータイプじゃない劣等感、卑屈さを出せたらと思いました。



## 藩　恵子
（ララァ・スン）

最後のセリフでシャアが「ララアは私の母になる女性だった…」と言ってますが私もそう思います。ララアはニュータイプだから死んでもまた出させていただいて幸せです。



# MESSAGE MAINSTAFF





キャラクター・デザイン
## 北爪宏幸

旧作から出ているキャラクターのイメージを壊さずに、僕らしさや今風の描き方を表現するという所で、多少苦心しました。例えばシャアに関しても、監督とのキャッチボールはありましたが、僕がその昔観る側だった頃から持っていたイメージと、今回監督が持っている『逆襲のシャア』のシャアのイメージと、かなり開きがあったりしましたしね。また、新キャラのグエスについてもそうなんですが、"クエス像"と言うものを把握するのに時間がかかりました。

僕も前のガンダムで非常に刺激を受けたクチなもので、テレビシリーズの「Z」「ZZ」と作業を続けてきた中で、ひと区切りとして今回の作品をやりましたし、今回の作品がファンの人達に、かつての僕達が受けた様な興味や感動を与える事ができればいいなと考えています。



美術監督
## 池田繁美

普通に生活できるという事を感じさせるスペース・コロニーというのを心がけました。

コロニーの中といっても、あまり未来未来した都市ではなくて、普通の人が生活してもフラストレーションを起こさない様な人工の都市を見せたい、と言う事です。

それから、宇宙の背景についてですが、美術の立場から言うと、今回は、テレビと違ってフィルムです。だから暗くて微妙な色が使えるんですが、監督の方から、話が暗いからなるべく明るくしてくれ、と言われたんです。そのまま宇宙を明るくすると、美術仲間からあいつは何やってんだ、と言われてしまうので、コンピュータが明るくみせているんだという事にしてしまったわけで、コクピットから見た宇宙は、とても明るくなっているんです。これは、『ZZガンダム』の時から使っている手法で、僕の方から出したアイディアなんです。



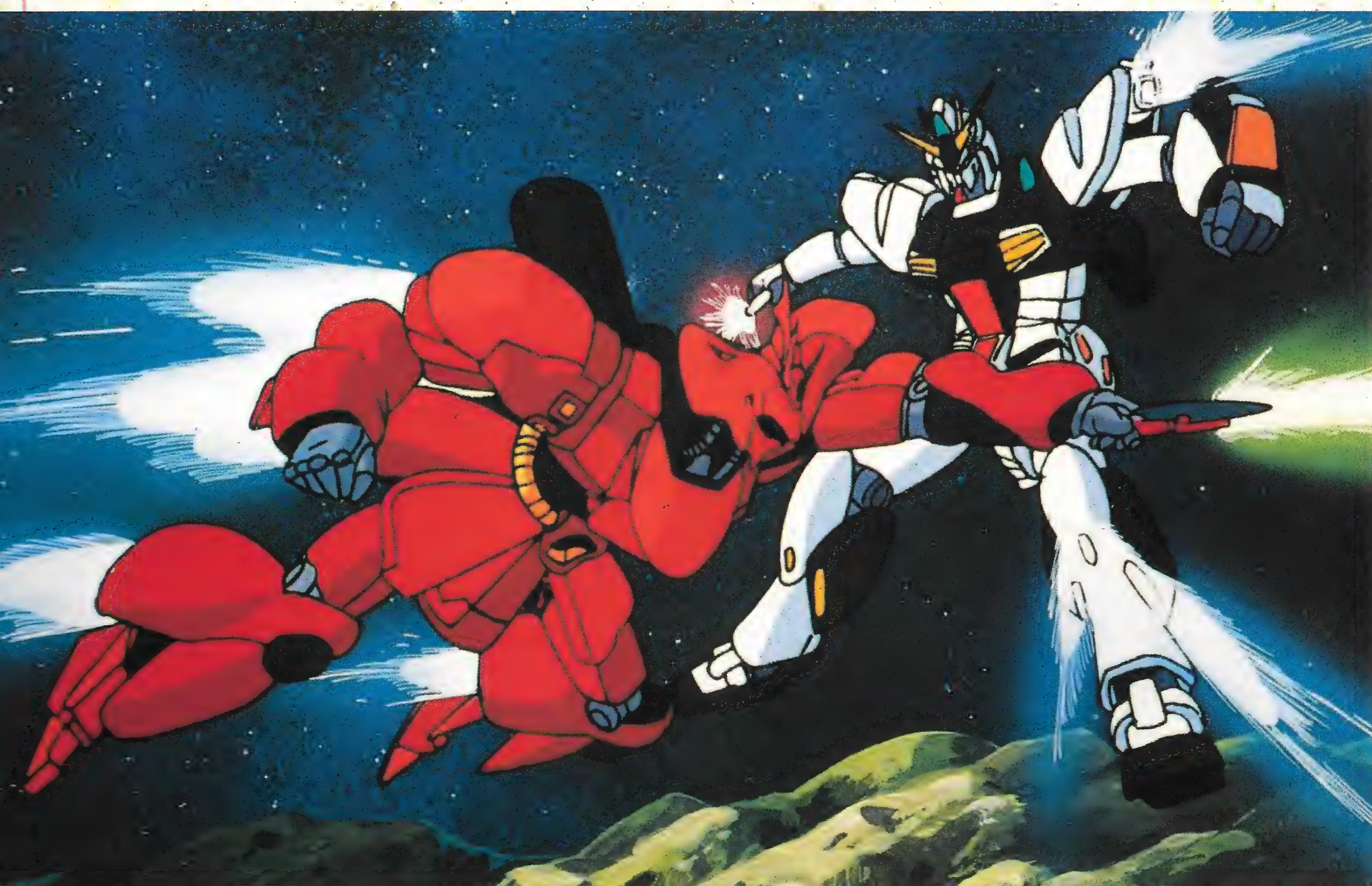
モビルスーツ・デザイン
## 出渕裕

ロボットアニメというものが、こういう形で劇場公開されることで一種の感慨はありますけど、大画面でしか観られないもの、というのがありますから、そこを観て欲しいですね。

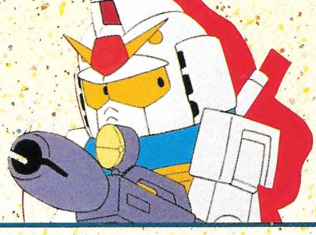
今回は非常に正統派な作りかたでまとめたつもりです。

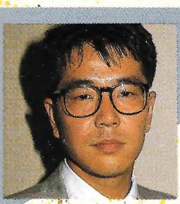
気をつけたところは、この大画面の情報量や物に芝居をさせるにはどうするかとか、質感であるとか、画面の中に許容できるものを最大限に活かすデザインという事でした。つまり作画監督の負担にならない、メカニックであり歩兵であり、というものです。ハッタリでみせるんじゃなくて素材としてのモビルスーツ。でもそれはシルエット的にもキャラクターとしても面白くしなくちゃいけない。デザインラインを昔のモビルスーツの延長線上に置いたのも、世界を壊したくなかったからで、シンプルな奇麗さ、というのを出したかったからです。

それを踏まえて、自分なりの解答を出したつもりです。



# ALL STAFF·CAST





プロデューサー
## 内田健二

今回の映画では、前のガンダムを観て、それでアニメーションの世界に入ってきたというスタッフが多数参加してくれています。そういったスタッフですから、当然意気込み十分。ですが、その分各スタッフが「これがガンダムだ」という自分独自のイメージを持っています。最初は、そういったそれぞれ別々のイメージを新しい統一のとれたガンダムイメージにしていく事から始まりました。これがけっこう大変な作業でした。

でも、作画・音楽・撮影といった各パートと富野監督とのディスカッションの中から、次第次第にイメージが統一されていきました。雑然とした中から一つのイメージが絞りこまれていく。スピード感あふれる戦闘シーン・重厚な人間芝居がふんだんに盛り込まれた「ガンダム映画」になっていく。サスガ富野監督！という感じです。





音楽
## 三枝成章

ガンダムは3作目なのですが、今回は分かり易いメロディ、つまりポピュラリティをもとうと心がけました。ガンダムでいつも難しいのは善悪がはっきりしない点なんですね。アムロとシャア、人間の本質という点でどっちも真実だと思う。そうするとメロディで分かり易いものをつくりたいと思っても簡単に割り切れない。むしろ善悪はっきりしてる方がつくり易いんですね。

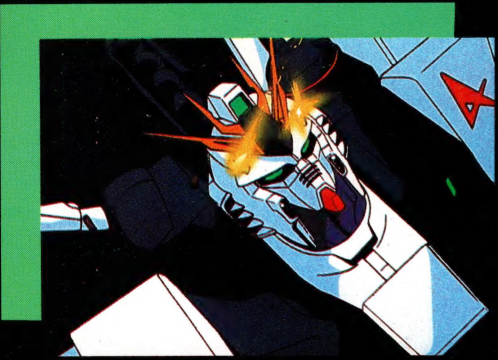
反面、今回のガンダムは、アニメの音楽というより、非常に正攻法で責めている本格的な音楽だと言うことが出来ます。フル・オーケストラを使って、そのままシンフォニーになるようなものだから、難しいとお考えになる方もいるでしょうが、格調高く（たとえばシャアは後期ロマン派のワグナーの擁護者・ルードヴィヒを意識）作ったつもり。僕の自信作です。

## CAST

アムロ・レイ……古谷　徹
シャア・アズナブル……池田　秀一
ブライト・ノア……鈴置　洋孝
ナナイ・ミゲル……榊原　良子
ミライ・ヤシマ……白石　冬美
クェス・パラヤ……川村万梨阿
チェーン・アギ……弥生みつき
ハサウェイ・ノア……佐々木　望
ギュネイ・ガス……山寺　宏一
レズン・シュナイダー……伊倉　一恵
ケーラ・スゥ……安達　忍
ララァ・スン……藩　恵子
アナデウアー・パラヤ……嶋　俊介
カムラン・ブルーム……村山　明
チェーミン・ノア……荘　真由美
オクトバー・サラン……牛山　茂
アストナージ・メドッソ……広森　信吾
カイザス・M・バイヤー……村松　康雄
ホルスト・ハーネス……池田　勝
メラン副艦長……石塚　運昇
ライル艦長……曽我部和恭
クラップ艦長……石森　達幸
ムサカ艦長……秋元　羊介
トゥース……戸谷　公次
キャサリン……小宮　和枝
アンナ……丸尾　知子
オフィサー……星野　充昭
ランチ・キャプテン……塚田　正昭
係員……島田　敏
オペレーター……竹村　拓
オペレーター……柴本　広之
ジャンク屋……島香　裕
警察官……高宮　俊介

## STAFF

製作……伊藤昌典
企画……山浦栄二
キャラクターデザイン……北爪宏幸
モビルスーツデザイン……出渕　裕
メカニカルデザイン……ガイナックス
〃……佐山善則
作画監督……稲野義信
〃……北爪宏幸
〃……南　伸一郎
〃……山田きさらか
〃……大森英敏
〃……小田川幹雄
〃……仙波隆綱
美術監督……池田繁美
撮影監督……古林一太
〃……奥井　敦
音響監督……藤野貞義
音楽……三枝成章
原作・脚本・監督……富野由悠季
原画……スタジオ・ダブ
古泉浩司　中野美佐緒
佐久間信一
松本朋之　座　円洞
鈴木克彦　井尻博之
磯　光雄　山崎健志
スタジオ・マーク
重田亜津史　佐藤英幸
小林利充　梅津泰臣
関野昌弘　南　伸一郎
橋本浩一　吉田　徹
仙波隆綱　小田川幹雄
所　ともかず　佐藤敬一
宇佐美皓一　越智博之
上野けん　山田浩之
菅沼栄治　牧野行洋
中野深雪　佐久間しげ子
千明孝一　榎本明広
今隈真一　牧野竜一
内田順久　重田　智
佐藤千春　武藤照美
石原典子　高橋千代子
熊谷浩彦　大平晋也
古瀬泰栄　戸倉紀元
加藤義貴　川元利浩
二村秀樹　長崎重信
吉野裕之　青木　聡
仲田美歩　近衛真守
寺沢伸介　木下ゆうき
三坂　徹　友田政晴
高木広行　北久保弘之
安藤義信　大田博光
作監協力
恩田尚之　中沢数宣
重田亜津史　小林利充
デザイン協力……大畑晃一
動画チェック……向山祐治
工藤千恵子　加藤ひろし
動画チェック補……川田栄三
今井浩之　岩長幸一
動画……赤坂理恵子
木下みさ子　竹之内節子
中川信子　小林克治
阿部　仁　荒木智子
川上恵美子　青木真理子
森　悦史
グループどんぐり
石割悦子　板倉百合恵
柘植直治　安達晶彦
スタジオ・ダブ
相田　徹　佐久間正典
高木恵子　菊池良枝
スタジオ・ウオンバット
東出　太　大隈孝晴
安藤　浩　菊池まゆ子
スタジオ・マーク
林　伸昌　島野　隆
スタジオAP
橋本恵理子　大渕佳子
動画協力　アートランド　タイガープロダクション
アウベック　スタジオたくらんけ
スタジオディーン　スタジオガイン
スタジオムー　スタジオ夢民
ワークショップ　ランダム
ブーメラン　アイ・ワークス
スタジオムサシ　サンシャインコーポレーション
スタジオ雲雀　きのこプロダクション
色指定……高島清子
仕上げ処理
前林文恵　前　とも子
仕上げ検査
吉森良子　権藤律子
三沢厚子　須藤節子
仕上げ……エムアイ
葛見智子　西岡知保
加瀬結起　佐藤美由紀
小川さよ子　山口勝代
ジャスト
峰崎裕子　堀江明美
海老原明美　小野原浩美
山口明世　中村真弓
仕上げ協力
スタジオビーム　ゼップ
スタジオバウ　シャフト
スタジオMAC　スタジオボギー
スタジオディーン　ヴィレッヂ
特殊効果……干場　豊(マリックス)
タイトル
リスワーク……マキプロダクション
背景……アトリエムサ
丸山由紀子　鳴海博光
大久保修一　若松栄司
辻　敦
スタジオイースター
東　潤一　矢島洋一
清水隆夫　南沢貞子
市原勝義
スタジオキャッツ
谷村心一　市原よう子
池　信孝　柴村光勇
ほわいとまっぷ
長谷川正史　片平真司
黛　昌樹
アトリエラスコー
白椛幸子　伊藤陽子
大賀秀実　伊藤清樹
小倉宏昌　下野哲人
木村重男　長谷川ひろ美
コンピュータグラフィックス
TOYO LINKS CORP.
プロデューサー　小高金次
ディレクター　林　弘幸
協力　IMAGICA
撮影……旭プロダクション
桶田一展　長谷川洋一
刑部　徹　谷口久美子
酒井幸徳　伊藤修一
撮影協力
トランスアーツ　東京ムービー
編集……布施　由美子(井上編集室)
演出補
川瀬敏文　高松信司
音響制作……千田啓子
音響助手
依田章良　中井　聡
効果
横山正和　小野弘典
調整
井上秀司　住谷　真
大谷六良　福島弘治
録音……東京テレビセンター
現像……東京現像所
制作デスク……高森宏治
制作進行
池部　茂　赤根和樹
吉野敏浩　河村朝生
設定制作……宮田周治
制作宣伝
井口貴史　渡辺利浩
テーマ曲……「BEYOND THE TIME
～メビウスの宇宙を越えて～」
作詞：小室みつ子／作・編曲：小室哲哉
TM Network(EPIC・ソニー)
出版協力……角川書店
プロデューサー……内田健二
技術協力……極東コンチネンタル株式会社
森　幹生
企画・製作……サンライズ
製作協力……松竹
創通エージェンシー
名古屋テレビ放送



# BEYOND THE TIME

〈メビウスの宇宙を越えて〉

作詩　小室みつ子 ■作曲 小室哲哉 ■編曲 小室哲哉

歌・TM NETWORK

You belong to me　サヨナラ言えなくて
いつまでも　抱き締めたかった
I belong to you 張り裂けそうになる
この胸を　君に差し出して

We belong to Earth　遥かな宇宙のもと
コバルトに　光る地球がある
悲しみは　そこから始まって
愛しさが　そこに帰るのさ

ああ　メビウスの輪から抜け出せなくて
いくつもの罪を繰り返す

平和より自由より正しさより
君だけが望む全てだから
離れても変わっても見失っても
輝きを消さないで
You can change your destiny 時の向こう
You can change your future 闇の向こう
We can share the happiness 捜してゆく
許し合えるその日を

夢という　風に導かれて
あやまちの　船に揺られてく
We belong to Earth 生きてゆけるのなら
いつかまた　戻れる日がある

ああ　メビウスの輪から引き寄せられて
いくつもの出会い繰り返す
Beyond the time

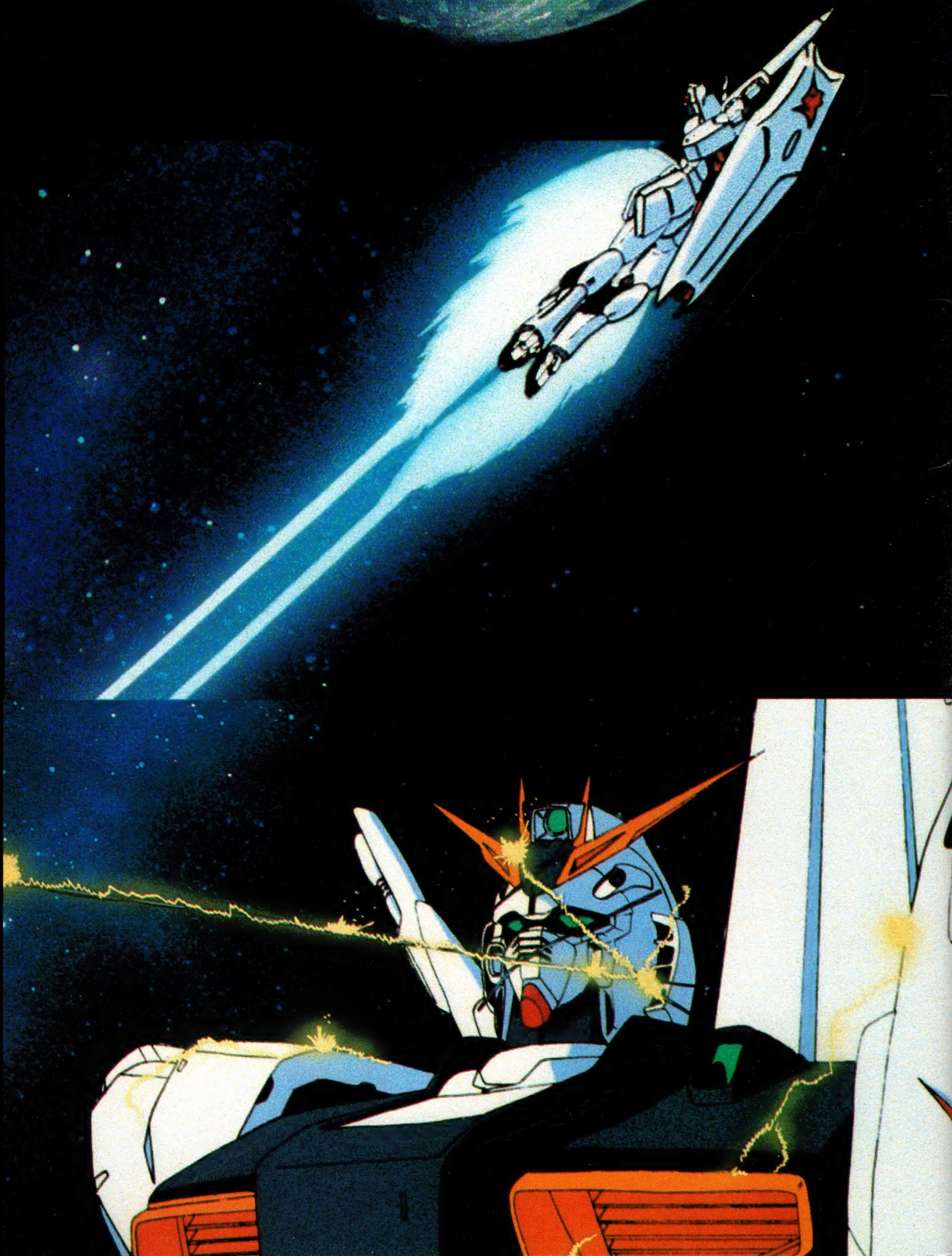
希望より理想より憧れより
君だけが真実　つかんでいた
はかなくて激しくて偽りない
まなざしを閉じないで
You can change your destiny 時の向こう
You can change your future 闇の向こう
We can share the happiness 捜してゆく
愛し合ったあの日を

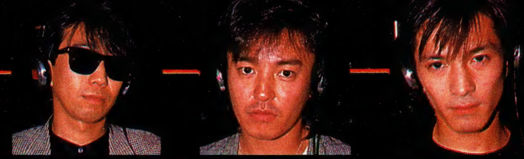
You can change your destiny 時の向こう
You can change your future 闇の向こう

ああ　もう一度君に
巡り会えるなら

メビウスの宇宙を
越えて　Beyond the time







# TM NETWORK







17才からプロ・ミュージシャンとして活動していた小室哲哉（リーダー、作詞作曲、プロデュース、アレンジ、キーボード担当）が、永年暖めて来た音楽のアイデアを実現させるため、アマチュア時代からの友人・宇都宮隆（リードボーカル）、木根尚登（ギター、キーボード担当）と共に1983年グループを結成。翌'84年4月、「金曜日のライオン」でEPIC・ソニーよりレコード・デビューを果たす。コンピューターのコントロールするシンセサイザーを駆使し、自由に歌い演奏するメンバー達は、真のニュー・ヒーローを予感させミュージック・シーンに衝撃を与えた。

以後、武道館、オープンシアターEASTなどライブ・コンサートを中心に全国的に活動する一方、「Self Control」「GET WILD」など続々とヒット曲を生み出し、テレビ、ビデオにも進出。今やヤングに最も影響をあたえるスーパー・グループになった。中でも、'87年7月に出した初のセレクションCD「Gift for Fanks」は発売と同時にオリコン初登場第1位を記録し、その人気のほどを知らしめた。

アニメの主題歌を担当するのは　バンパイアハンター"D"（'85）「シティハンター」（'87）に続いて3本目となるが劇場映画はこれが初めてである。



昭和63年3月12日発行　©創通エージェンシー／サンライズ　●発行 松竹株式会社事業部　定価 500円



企画 サンライズ／配給 松竹